


光市総合福祉センター改修工事

図 面 目 次

《 意 匠 図 面 》			《 電 気 設 備 図 面 》			《 機 械 設 備 図 面 》		
番号	図 名	縮 尺	番号	図 名	縮 尺	番号	図 名	縮 尺
A-01	工事概要・付近見取図・配置図	1/700	E-01	電気設備特記仕様書	N/S	M-01	機械設備特記仕様書1	N/S
A-02	仕上表・平面図(改修前・後)	1/200	E-02	電灯設備平面図(改修前・後)	1/100	M-02	機械設備特記仕様書2	N/S
A-03	平面図詳細図(改修前・後)	1/100	E-03	コンセント平面図(改修前・後)	1/100	M-03	機械設備特記仕様書3	N/S
A-04	展開図(改修前)	1/100	E-04	電灯分電盤結線図	N/S	M-04	機械設備特記仕様書4	N/S
A-05	展開図(改修後)	1/100	E-05	弱電平面図(改修前・後)	1/100	M-05	工事概要・付近見取図・配置図	1/700
A-06	断面詳細図(1)(改修前・後)	1/50	E-06	自動火災報知設備平面図(改修前・後)	1/100	M-06	空調・換気機器表(改修前・後)	1/100
A-07	断面詳細図(2)(改修前・後)	1/50				M-07	空調・換気ダクト平面図(改修前・後)	1/100
A-08	天井伏図(改修前・後)	1/100				M-08	空調配管平面図(改修前・後)	1/100
A-09	建具表(改修前・後)	1/100				M-09	空調・換気制御平面図(改修前・後)	1/100
A-10	雑詳細図	図示				M-10	衛生設備平面図(改修前・後)	1/100

建築改修工事特記仕様書																																					
1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という）、「建築改修工事監理指針 令和4年版」及び、「公共建築工事標準仕様書 令和4年版」（以下「標準仕様書」という）、「建築工事監理指針 令和4年版」による。																																					
2. 特記仕様の適用方法																																					
（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。																																					
（2）特記事項に○印の付いたものを適用する。																																					
（3）項目に記載の表示番号は、各標準仕様書の当該項目を示す。																																					
特記事項について、（ ）は改修標準仕様書の記載内容、《 》は標準仕様書の内容を示す。																																					
章	項 目		特 記 事 項																																		
一般共通事項	①	①	建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という） 分類番号（○－○－○）は図示する。																																		
		②	一般事項（1.1.1） 設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（ア）から（オ）までの順番のとおりとし、これにより難い場合は、改修標準仕様書1.1.8（疑義に対する協議等）による。 （ア）質問回答書（（イ）から（オ）までに対するもの） （イ）現場説明書 （ウ）特記仕様書 （エ）図面 （オ）改修標準仕様書																																		
		3	改修の区分 ・ 全館無人改修 ・ 執務並行改修（施工範囲：（ ））																																		
		④	着工時の提出図書 契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 工事用製本図面（工事用A2版）（ ）部（監督職員 部、施設管理者 部、事業課 部、その他 部）（縮小版A3版）（ ）部（監督職員 部、施設管理者 部、事業課 部、その他 部）（設計事務所により押印されたものを製本すること）																																		
		⑤	施工計画書・総合図・施工図（1.2.2～1.2.3） 施工計画書について、工事着手に先立ち総合施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。 工種別施工計画書については、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議し、作成し提出すること。 総合図について、建築及び別契約の関連工事と協議、調整を行い、統合した図面を作成し、監督職員に提出して承諾を受ける。なお、作成の主導は本工事で行う。 施工図について、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議する。作成した図面は監督職員の承諾を受ける。																																		
		⑥	工期の変更に係る資料の提出（1.1.10） 契約書に基づく工期の変更についての発注者との協議にあたり、協議の対象となる事項について、必要とする変更日数の算定根拠、変更工程表その他の協議に必要な資料を、あらかじめ監督職員に提出する。																																		
		7	埋蔵文化財その他の物件（1.1.12） 重機による掘削調査等について協力すること。																																		
		8	電気保安技術者（1.3.3） 配置する																																		
		⑨	施工条件（1.3.5） 施工日時 ○ 指定なし（「行政機関の休日に関する法律」に定める行政機関の休日は施工しない。） ・ 指定有り（（ ）） 工事用車両の駐車場 ○ 指定有り（図示による（ ）） 資機材置場 ○ 指定有り（図示による（ ））																																		
		⑩	安全衛生管理体制（1.3.7） 発生材の処理等（1.3.12） ・ 発注者（施設管理者）に引渡しを要する品目（（ ）） 引渡し場所（（ ））、引渡し時期（（ ）） ・ 特別管理型産業廃棄物等及び処理方法 ・ PCB（施設管理者へ引き渡し） ・ PH12.5以上の廃アルカリ 処理方法（（ ）） ・ 石綿含有吹付け材及び石綿含有保温材等の処理 処分方法（ ・ 埋立処分（管理型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）） ・ 石綿含有せっこうボードの処理 処分方法（ 埋立処分（管理型最終処分）） 再利用、再生資源化を図るもの（「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」における特定建設資材以外のもの） ・ がれき類 ・ 汚泥 ・ 木くず ・ 廃プラスチック類 ・ ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず ・ 金属くず ・ 発生材の品目及び処理方法（（ ））																																		
	⑪	環境への配慮（1.4.1） 「山口県グリーン購入の推進方針」及び「グリーン購入ガイド」（以下「グリーン購入」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 使用する材料等は、設計図書で定める性能等を有するとともに、次のことを満たすものとする。																																			
		⑬	建築材料等（1.4.1～6） 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。 2）保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか放散が極めて少ないもの。 3）接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。 4）塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。 5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。 1）使用する材料の選定は、設計図書に指定されたもの、JIS、JAS、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」（以下「評価名簿」という）による。 2）製材等、フローリング又は再生木質ボード、コンクリートに使用するせき板の材料は、グリーン購入法の基本方針の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁作成）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。 3）「山口県ふるさと産業振興条例」の趣旨を踏まえ、施工する工事に要する資材の調達に当たり、指定主要資材については、県内産資材（県内工場等で製造した資材）を購入すること。 （「入札条件及び指示事項」による） 調査範囲 ・ 外壁（庇共） ・ 笠木天端共 ・ 図示による 調査方法 ・ テストハンマーによる打診及び目視 ・ 調査要領 ・ 「外壁の改修工法選定フロー」による ・ 「建築仕上改修施工管理技術者」の資格を有する者が行う。 報告書 ・ 外壁調査は、上記の調査要領により外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ等の位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行い、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。																																		
		14	施工数量調査（1.6.2） 調査範囲 ・ 外壁（庇共） ・ 笠木天端共 ・ 図示による 調査方法 ・ テストハンマーによる打診及び目視 ・ 調査要領 ・ 「外壁の改修工法選定フロー」による ・ 「建築仕上改修施工管理技術者」の資格を有する者が行う。 報告書 ・ 外壁調査は、上記の調査要領により外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ等の位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行い、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する。																																		
		⑬	石綿含有建材の事前調査及び施工計画調査（1.5.1）（1.6.1） 1）関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 受注者等が行う事前調査は、発注者が実施設計業務において行った事前調査の結果を確認することを行い、改修標準仕様書における「施工調査」のうち「施工計画調査」（施工計画図作成のための調査）とする。 2）調査は、関係法令等に指定された所定の有資格者が行うものとする。 3）事前調査の結果（報告書：任意様式）を監督職員に2部提出する。 補修方法 ・ 図示による ・																																		
		16	施工数量調査のための破壊部分の補修（1.6.3） 技能士の適用は下記による。																																		
		⑭	技能士（1.7.2） <table><tr><th>工事別</th><th>適用職種</th><th>工事別</th><th>適用職種</th></tr><tr><td>仮設</td><td>・ とび</td><td>内装改修</td><td>・ 建築大工 ・ 建築板金 ・ 左官 ・ 表装 ・ タイル張り</td></tr><tr><td>防水改修</td><td>・ アスファルト防水 ・ 改質アスファルトシート防水 ・ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴムシート防水 ・ 塩化ビニルシート防水 ・ シーリング 防水</td><td>○内装仕上施工の各工事作業 ・ 鋼製下地 ・ ｾｰﾄﾞ仕上 ・ プラスチック系床</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>塗装改修</td><td>・ 塗装</td></tr><tr><td></td><td></td><td>躯体改修</td><td>・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート圧送施工 ・ 鉄工</td></tr><tr><td>外壁改修</td><td>・ 樹脂接着剤注入施工 ・ 左官 ・ タイル張り</td><td>屋根改修</td><td>・ 建築板金（内外装板金作業） ・ かかわらぶき</td></tr><tr><td>建具改修</td><td>○サッシ施工 ・ ガラス施工</td><td></td><td></td></tr></table>							工事別	適用職種	工事別	適用職種	仮設	・ とび	内装改修	・ 建築大工 ・ 建築板金 ・ 左官 ・ 表装 ・ タイル張り	防水改修	・ アスファルト防水 ・ 改質アスファルトシート防水 ・ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴムシート防水 ・ 塩化ビニルシート防水 ・ シーリング 防水	○内装仕上施工の各工事作業 ・ 鋼製下地 ・ ｾｰﾄﾞ仕上 ・ プラスチック系床				塗装改修	・ 塗装			躯体改修	・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート圧送施工 ・ 鉄工	外壁改修	・ 樹脂接着剤注入施工 ・ 左官 ・ タイル張り	屋根改修	・ 建築板金（内外装板金作業） ・ かかわらぶき	建具改修	○サッシ施工 ・ ガラス施工		
工事別	適用職種	工事別	適用職種																																		
仮設	・ とび	内装改修	・ 建築大工 ・ 建築板金 ・ 左官 ・ 表装 ・ タイル張り																																		
防水改修	・ アスファルト防水 ・ 改質アスファルトシート防水 ・ ウレタン系塗膜防水 ・ 合成ゴムシート防水 ・ 塩化ビニルシート防水 ・ シーリング 防水	○内装仕上施工の各工事作業 ・ 鋼製下地 ・ ｾｰﾄﾞ仕上 ・ プラスチック系床																																			
		塗装改修	・ 塗装																																		
		躯体改修	・ 鉄筋施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ コンクリート圧送施工 ・ 鉄工																																		
外壁改修	・ 樹脂接着剤注入施工 ・ 左官 ・ タイル張り	屋根改修	・ 建築板金（内外装板金作業） ・ かかわらぶき																																		
建具改修	○サッシ施工 ・ ガラス施工																																				
		18	化学物質の濃度測定（1.7.9） 測定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定する。（提出部数 1 部） 測定対象室及び測定箇所数 ・ （ 箇所） ・ （ 箇所） ・ （ 箇所） ・ （ 箇所） 測定方法及び測定対象化学物質 ・ 予備濃度測定 測定方法（ ・ 検知管法 ・ ） 測定対象化学物質 ホルムアルデヒド・トルエン ・ 引渡し前濃度測定 測定方法（（ ）） 測定に要する資機材は受注者が準備する。 学校施設の場合 ・ 厚生労働省の標準測定法 ・ 学校施設以外の場合 ・ パッシブ型採取機器 ・ 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン 用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定																																		
		19	技術検査（1.8.2） 技術検査に必要な資機材等は以下による。 バケツ、懐中電灯、木槌、鏡、脚立、ドライバー、チョーク、下げ張り、レベル、スコップ、スチールテープ（50m程度）、散水ホース、ガラス厚を測定する器具、その他監督職員が指示する資機材 下記のを監督職員に提出する。																																		
		⑮	工事写真 <table><tr><th colspan="2">分類 ・ 規格</th><th>撮影時期</th><th>撮影場所</th><th>部数</th><th>備考</th></tr><tr><td>カラー</td><td>サービス版（L版）</td><td>着工前、施工中、完成</td><td>適宜</td><td>1部</td><td>電子データ共</td></tr></table>							分類 ・ 規格		撮影時期	撮影場所	部数	備考	カラー	サービス版（L版）	着工前、施工中、完成	適宜	1部	電子データ共																
分類 ・ 規格		撮影時期	撮影場所	部数	備考																																
カラー	サービス版（L版）	着工前、施工中、完成	適宜	1部	電子データ共																																
		⑯	完成写真 電子データの提出方法については「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック」、「営繕工事写真撮影要領（最新版）」及び「デジタル工事写真の小黑板情報電子基準」による。 下記のを監督職員に提出する																																		
		⑰	完成時の提出図書等（1.9.1～3） 写真の撮影箇所を記入すること。（電子データの写真のファイル名も同様） 電子データの提出方法については「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 作成方法は「山口県営繕工事完成図作成要領」、「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 次に記載されていない事項は、監督職員の指示による。 完成図は、以下による。表1.8.1																																		
			種類		記入内容																																
			・ 配置図及び案内図		敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽																																
			・ 各階平面図		室名、室面積、耐震壁																																
			・ 各立面図		外壁仕上																																
			・ 断面図		階高、天井高等を表示し、2面以上作成																																
			・ 仕上表		屋外、屋内の仕上、色番号、材料名、メーカー名等																																
			・ 施工図																																		
			・ 施工計画書																																		
			完成図の作成、提出 黒表紙付きA4版（年度、工事名、工期、施工業者名を金文字で記入）に下記図面を製本したもの。 ・ 完成図（確認済証、検査済証、施工体系図、保証書（以下参照）、VOC測定結果（合格）の写し共） 作成部数：学校施設の場合1部、学校施設以外の場合2部 製本図面A2版（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に下記図面を製本したもの。 ・ 完成図 作成部数（ 2 ）部 保全に関する資料（取扱説明書、性能試験成績書、その他監督職員が指示するもの） 提出部数 ・ 1部 ・ 2部 ・ （ ）部 ・ 不要 保証書 ・ 防水 保証期間（ ・ 工事引渡日の翌日から10年 ・ 年） 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲するものとする。																																		
		23	著作権 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図及び総合図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																		
		24	設備工事との取り合い 設備工事との取り合い																																		
			鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込盤、ブルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ		開口部補強	・	・	・																													
			埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強		電気のスリーブ等	・	・	・																													
					機械のスリーブ等	・	・	・																													
					切込み及び補強	・	・	・																													
					電気墨出し	・	・	・																													
					機械墨出し	・	・	・																													
			電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）		基礎及びビット	・	・	・																													
			天井点検口		電気墨出し	・	・	・																													
						・	・	・																													
			軽量鉄骨壁のボックス取付用下地			・	・	・																													
			機器類の吊りボルト用インサート		電気設備	・	・	・																													
					機械設備	・	・	・																													
			機器類の取付け用アンカーボルト		電気設備	・	・	・																													
					機械設備	・	・	・																													
			コンクリート基礎（外灯設備）			・	・	・																													
			コンクリート基礎（機械設備機器類）		屋上設置	・	・	・																													
					屋内設置	・	・	・																													
					屋外設置	・	・	・																													
			オイルサービスタンク防油堤			・	・	・																													
			自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアフィッパ、ドアヒンジ			・	・	・																													
			OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強			・	・	・																													
			OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強			・	・	・																													
			外壁取付けガラリ			・	・	・																													
			換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）			・	・	・																													
			建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の		1次側	・	・	・																													
			配管・配線		2次側（盤含む）	・	・	・																													
			機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作		1次側	・	・	・																													
			盤の配管・配線		2次側（盤含む）	・	・	・																													
			機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続			・	・	・																													
			エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管			・	・	・																													
			エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線			・	・	・																													
			エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付			・	・	・																													
			エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線（アース共）			・	・	・																													
			換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）			・	・	・																													
			換気機器用のスイッチの配管・配線及びスイッチ取付			・	・	・																													

仮設工事	25撤去部分 26耐荷重及び耐外力 27工事の一時中止に係る計画の作成 (1.1.9)	設備工事との取り扱い	建築	電気	機械	
		機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線	・	○	・	
		機械設備工事に含む電極の配管・配線	・	○	・	
		擬音装置の埋込ボックス	・	・	○	
		電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線	・	○	・	
		電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配管	・	○	・	
		電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	○	
		ガス給湯器のアース配線	・	・	○	
		屋内、屋外雨水管	○	・	・	
		コンクリート、モルタル等の撤去部分と既存構造物との境目は、ダイヤモンドカッター切りとする。 「建築基準法」に基づき定められた風速（Vo）及び「建築基準法」に基づき定められた地表面粗度区分風速（m/s）3.4 地表面粗度区分（ⅡⅢ） 垂直積雪量（）cm				
工事契約書に基づく工事の一時中止の通知を受けた場合、中止期間中における工事現場の維持・管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来高、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項、工事再開に向けた方策及び基本計画に変更が生じた場合の手続きを記載すること。						
②①足場等 (2.2.1)	内部足場の種別○脚立、足場板等・ 外部足場の種別・枠組本足場・くさび緊結式足場・単管本足場 ・ 外部足場の防護シート等による養生・行う・行わない 材料、撤去材等の運搬方法・A種・B種・C種表2.2.1 ・D種・E種 ・行う（・防音パネル・防音シート・養生シート（防災Ⅰ類）・）					
②騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)	養生方法○ビニルシート、合板等による・ ・固定された家具（備品、机、ロッカー等）の移動・行う（図示）○行わない ・既存部分における既存家具等の養生○ビニルシート等による・ ・既存ブラインド、カーテン等の養生（養生方法○取外し再取付・）					
③既存部分の養生 (2.3.1)	設置箇所・図示による・ 種別・A種○B種・C種表2.3.1 A種又はB種を用いる場合の材種等 材種、厚さ ・合板（厚さ・9mm・） ○せっこうボード（厚さ・9.5mm・） 片面への塗装等の仕上げ・行う○行わない A種のグラスウール等の充填材・行う（JIS A 6301グラスウール吸音材2号32K厚50mm） ・行わない					
④仮設間仕切り (2.3.2)	仮設扉 設置箇所○図示による・ 種別○合板張り木製扉程度・ ・構内に新設する 監督職員事務所の規模（㎡程度） ・既存建物内の一部を使用する（場所） 監督職員事務所の標準仕様は下表とし、下表によらない場合は監督職員との協議による。 部位等仕上げ 床合板張り又はビニル床シート張り 内壁、天井合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り 屋根塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り					
5監督職員事務所 (2.4.1)	設置する設備・備品等（机、いす、冷暖房機、消火器、保護帽、ゴム長靴、雨合羽、他）の種類及び数量は監督職員との協議による。 表示内容について監督職員の確認を受けること。					
⑥工事表示板	構内既存の施設○利用できる（※有償・無償）※利用できない・小メーターを設置 ○利用できる（※有償・無償）※利用できない・小メーターを設置					
⑦工事用水						
⑧工事用電力						
		⑨工事現場における 掲示物等	「建設業法」及び「公共工事の入札及び契約の適正化に関する法律」等に基づき、必要な掲示物を工事現場に掲示すること。 (例)建設業の許可票（元請業者のみ）、労災保険関係成立票、建設業退職金共済制度加入現場ステッカー、施工体系図、石綿調査結果、再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書（石綿調査結果記載例 ※A3以上とすること） 			
		⑩指定仮設物等	適用は以下のとおりとし、仕様は図示による ・仮囲い・ゲート・敷き鉄板・交通誘導員A（人）・交通誘導員B（人） ○その他（かごコン） ・			
		3土工事	1埋戻し及び盛土 (8.28.3)種別・A種・B種・C種・D種表3.2.1 ・建設汚泥から再生した処理土または土工用水砕スラグ 2建設発生土の処理 (8.28.3)・構外指示の場所に処分（ 残土処理場（市））			
		4地業工事	1砂利及びび砂地業 (8.28.4)・砂利地業 砂利（・再生クラッシャラン・切込砂利・切込碎石） 厚さ使用範囲 ・60mm・基礎下・地中梁下・ ・ ・砂地業 厚さ使用範囲 ・60mm・基礎下・地中梁下・ ・			
		2捨コンクリート 地業 (8.28.4)	厚さ使用範囲 ・50mm・基礎下・地中梁下・ ・			
		5鉄筋工事	1鉄筋 (8.2.1)鉄筋の種類表8.2.1 規格番号種類の記号規格名称径 JIS G 3112・SD295鉄筋コンクリート用棒鋼D10、D13、D16 JIS G 3112・SD345鉄筋コンクリート用棒鋼D19、D22、D25 JIS G 3112・SD390鉄筋コンクリート用棒鋼D29			
		2溶接金網 (8.2.2)	規格番号網目の形状寸法及び鉄線の径施工箇所 JIS G 3551・100×100×φ6.0・			
		3継手及び定着 (8.3.4)	鉄筋の継手方法等 ガス圧接は、原則D19以上を対象とする。 部位継手方法径 柱、梁の主筋・ガス圧接継手・ ・ その他の鉄筋（）・重ね継手・ ・			
		4鉄筋のかぶり厚さ (8.3.5)	鉄筋の継手の位置・構造図（構造関係共通事項）による・構造図による 鉄筋の継手長さ・40dと表8.3.2の重ね長さのうち大きい値・40d・ 鉄筋の定着長さ・40dと表8.3.4の重ね長さのうち大きい値・40d・			
		5帯筋	図示による。			
		6壁の配筋及び補強 (8.3.7)	図示による。			
		7圧接部・継手の試験 (8.3.8)	試験を行う継手の方法・ガス圧接継手・機械式継手・溶接継手 外観試験・行う・行わない 抜取試験・超音波探傷試験・引張試験			
		(8.4.2～3)				
		6コンクリート工事	1一般事項		生コンクリートの配合計画書を事前に監督職員に提出すること。 施工時期（適用時期）は当該工事場所における生コンクリート組合の適合表による。 ・普通コンクリート・軽量コンクリート	
		2コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)	設計基準強度Fc (N/mm2)スランブ (cm)適用箇所 ・15cm・18cm ・15cm・18cm ・15cm・18cm ・15cm・18cm			
		3コンクリートの種類 (8.1.3)	類別 ・Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（Ⅰ類を除くJIS A 5308に適合したコンクリート） 工場の選定 JISマーク表示認証製品を製造している工場で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者が常駐しており配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定し、JIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するものを用いること 合板せき板を用いた打放し仕上げの種別・A種・B種・C種表8.1.4 コンクリート仕上りの平たんさ・a種・b種・c種 図示による		表8.1.1	
		4コンクリートの 仕上り (8.1.4)				
		5混和材料 (8.2.5)				
		6調和管理強度 (8.2.5)	施工時期構造体補正値(S) (N/mm2) ／ ～ ／ ・+9・+6・+3 ／ ～ ／ ・+9・+6・+3		表8.2.4	
		7型枠のせき板 (8.2.7)	せき板の材料（合法木材）区分（・A・B・C） 厚さ・12mm・			
		8既存部分の撤去 (8.21.2)	既存仕上げ等の撤去 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去及び移設は図示による。 既存構造体の撤去 既存構造体の撤去範囲は図示による。 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置は図示による。 目荒らしの程度 ・平均深さ2～5mm程度・ 打ち込み工法の種類・流込み工法・圧入工法			
		9既存部分の処理 (8.21.3)	既存構造体と増設壁との取合いの処理方法 グラウト材（無収縮モルタル）注入 無収縮モルタル材（製造所は評価名簿による） 圧縮強度試験・行う（・3日・28日・） 圧縮強度：N/mm2 ・行わない コンシステンシー試験・行う（・J14ロート試験・簡易テーブルフロー試験） ・行わない			
		10コンクリートの 打ち込み (8.21.8)				
		11既存構造体との 取合い (8.21.9)	増設壁工事後の仕上げ図示による			
		12仕上げ (8.21.10)	コンクリートの種類設計基準強度（Fc） (N/mm2)スランブ (cm)適用箇所 普通コンクリート・18・ ・15・18 ・18 ・街きよ、縁石、側溝類のコンクリート及びこれらの基礎コンクリート ・間知石積み基礎及び裏込めコンクリート ・捨てコンクリート ・機械室等で用いる配管埋設用コンクリート ・防水層の保護コンクリート ・			
		13無筋コンクリート (8.11.1)				
		7鉄骨工事	1鋼材 (8.2.8)		鋼材の種類、材質、形状、寸法は図示による。	
		2高力ボルト (8.2.9)	種類・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ねじの呼び図示による			
		3溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験の方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口ずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による。 ・JASS6 10.4 [受入検査]「8.溶接部の外観試験(1)から(5)」による。 完全溶込み溶接の超音波探傷試験・実施する・実施しない 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲（・図示による・） 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲（・改修標準仕様書8.17.2(1)(ア)～(オ)以外の範囲・）			
		4錆止め塗装の範囲 (8.17.2)				
		年度7	工事名		建築改修工事特記仕様書10-2	
		光市建築住宅課	光市総合福祉センター改修工事		—	
		級建築士登録第号	印		設計変更回	
					—	

[illegible]

③

素地ごしらえ
(7.3.2～7)
《新規面》

4

錆止め塗料塗り
(7.3.2～3)

⑤

仕上げ塗料塗り
(7章5節～13節)

・ 木部
・ 不透明塗料塗り 種別 (・ A種 ・ B種)
・ 透明塗料塗り 種別 (・ A種 ・ B種)
・ 鉄鋼面
種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種)
耐候性塗料塗り (DP) の場合 種別 (・ A種 ・ B種 ・ C種)
・ 亜鉛めっき鋼面
・ 鋼製建具等 種別 (・ A種 ・ B種)
・ 鋼製建具等以外 種別 (・ A種 ・ B種)
・ モルタル面及びせっこうプラスター面
種別 (・ A種 ・ B種)
・ コンクリート面 (耐候性塗料塗り (DP) の場合は除く) 、ALCパネル面
種別 (・ A種 ・ B種)
・ 押出成形セメント板面、コンクリート面 (耐候性塗料塗り (DP) の場合
種別 (・ A種 ・ B種)
○ せっこうボード面及びその他ボード面
目地 ・ 継目処理工法 (・ A種 ・ B種)
・ その他 (・ A種 ・ B種)

表7.3.1
表7.3.2
表7.3.3
表7.3.4
表7.3.5
表7.3.6
表7.3.7
表7.4.1～6

塗装面		工程の種別		塗料の種別	
鉄鋼面	SOP	新規見え掛り	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種	
		新規見え隠れ	・ A種 ・ B種 ・ C種		
		塗替え	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	DP	新規	・ A種 ・ B種 ・ C種	1回目C種 2.3回目D種	
		塗替え	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 下地調整をRA種とする場合 1回目C種 2.3回目D種 ・ 下地調整をRB種又はRC種と する場合 E種	
		EP-G	新規見え掛り	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種
新規見え隠れ	・ A種 ・ B種 ・ C種				
塗替え	・ A種 ・ B種 ・ C種				
亜鉛めっき鋼面	SOP	新規鋼製建具等	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種	
		新規鋼製建具等以外	・ A種 ・ B種 ・ C種		
		塗替え	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	DP	新規及び塗替え	表7.4.6による	・ B種	
EP-G	新規鋼製建具等	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ C種		
	新規鋼製建具等以外	・ A種 ・ B種 ・ C種			
塗替え	・ A種 ・ B種 ・ C種				

表7.5.1～7.13.1

塗装の種類	塗装面	工程		
		塗替え	新規	
・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ・ 1類 ・	屋外の木部	・ B種 ・	・ A種 ・	
	屋内の木部	・ B種 ・	・ B種 (多孔質広葉樹を除く) ・	
	鉄鋼面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	・ A種 ・	・ B種 ・	
・ クリヤラッカー塗り (CL)	屋内の木部	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	
	屋内のコンクリート面	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	屋内のモルタル面	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	
	・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り塗料 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	表7.8.1による	
亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級		表7.8.2による		
コンクリート面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B-1種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C-1種		
押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ A-1種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B-1種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C-1種		
・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	
	モルタル面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	
	せっこうプラスター面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	
	せっこうボード面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	
	その他ボード面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	
	屋内の木部	・ B種 ・	・ A種 (多孔質広葉樹を除く)	
	屋内の鉄鋼面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	
	屋内の亜鉛めっき鋼面	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	

①③

環境配慮改修工事

1

除去工事共通事項
(9.1.2)

2

石綿含有吹付け材の除去
(9.1.3)

3

石綿含有保温材等の除去
(9.1.4)

④

石綿含有成形板等の除去
(9.1.5)

5

石綿含有仕上塗材の除去
(9.1.6)

1

4
屋根工事

塗装の種類		塗装面		工程	
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	コンクリート面	モルタル面	せっこうプラスター面	せっこうボード面	その他ボード面
・ ウレタン樹脂フニス塗り (UC)	屋内の木部	・ B種 ・	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種
		・ B種 ・	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種
		・ B種 ・	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種
		・ B種 ・	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種
		・ B種 ・	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種
・ ステイン塗り	木部	・ ビグメントステイン ・ オイルステイン塗り (OS)			
・ 木材保護塗料塗り (WP)	屋内の木部	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種	・ A種 ・ B種

大気汚染防止法に基づき、石綿含有建材の事前調査結果を監督職員に説明し、工事看板に掲示すること。
(「2 仮設工事」参照)
作業管理者 石綿作業主任者 又は 特定化学物質等作業主任者
石綿含有材料、含有部位、除去範囲は図示による。
除去工法 図示による

専門工事業者 「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術」の審査証明による技術を有すること。
石綿含有材料、含有部位、除去範囲は図示による。
除去方法等
・ 切断又は粉砕して除去
除去工法 図示による
・
・ 原型のまま、手ばらし
図示による。

石綿含有材料、含有部位、除去範囲は図示による。
除去工法 図示による
・

⑦

その他

3

粘土瓦葺
《13.4.2～3》

①⑤

フリーアクセス
フロア
《20.2.2》

2

トイレブース
《20.2.5》

3

黒板及びホワイト
ボード
《20.2.9》

4

表示
《20.2.11》

5

ブラインド
《20.2.14》

6

カーテン及び
カーテンレール
《20.2.16》

⑦

点検口

断熱張り
・ 行う ・ 行わない

種別	厚さ (mm)	防火性能

耐雪性能に対応した工法 適用する (図示) 適用しない
図示による

材料等 (標準仕様書20.2.2による)

施工箇所	支柱調整式	置敷式
工法	・ 0.6G	・ 0.6G
耐震性能	・ 0.6G	・ 1.0G
所定荷重	・ 0.6G	・ 1.0G
耐荷重性能	・ 3000N	・ 5000N
寸法	・ 3000N	・ 5000N
高さ (mm)	・	・
表面仕上げ材の材質	・ タイルカーベット (・ 第一種 ・ 第二種) ・ 帯電防止床タイル	・ タイルカーベット (・ 第一種 ・ 第二種) ・ 帯電防止床タイル
表面仕上げ材の寸法		
帯電防止機能		
漏えい抵抗		
ボーダー部及びスロープ	・ メーカー仕様	・ 図示
製造所	・ メーカー仕様	・ 図示

製造所 評価名簿による

床表面仕上げ材の品質・性能等は標準仕様書「19章内装工事」による。
形状及び寸法 標準詳細図6 - による 図示による
パネル表面材 メラミン樹脂系化粧板 ポリエステル樹脂系化粧板
エッジ材質形状 アルミRエッジ
脚部材質形状 幅木 (・ SUS304 ・)
脚具 (・ SUS304 ・)

製造所 評価名簿による
・ 黒板
種類 鋼製黒板 ほうろう黒板
・ ホワイトボード
種類 ほうろう
・ 対人衝突防止表示 図示による
・ 非常用進入口 図示による
・ 案内板 施設案内板 (・ 図示による)
・ 各階案内板 (・ 標準詳細図8 - による 図示による)
・ 視覚障害者用案内板 (・ 図示による)
・ 標準詳細図8 - による
・ 図示による
・ 市販品 (製造所、品番)
・ 標準詳細図8 - による
・ 図示による
・ 市販品 (製造所、品番)
・ 館名文字 切抜文字 (・ ステンル製 ・ 黄銅製) ・ 箱文字 (・ ステンル製 ・ 黄銅製)
字数 () 文字の大きさ (×)

防火性能を有するものは図示による

・ カーテンレール及び付属金物

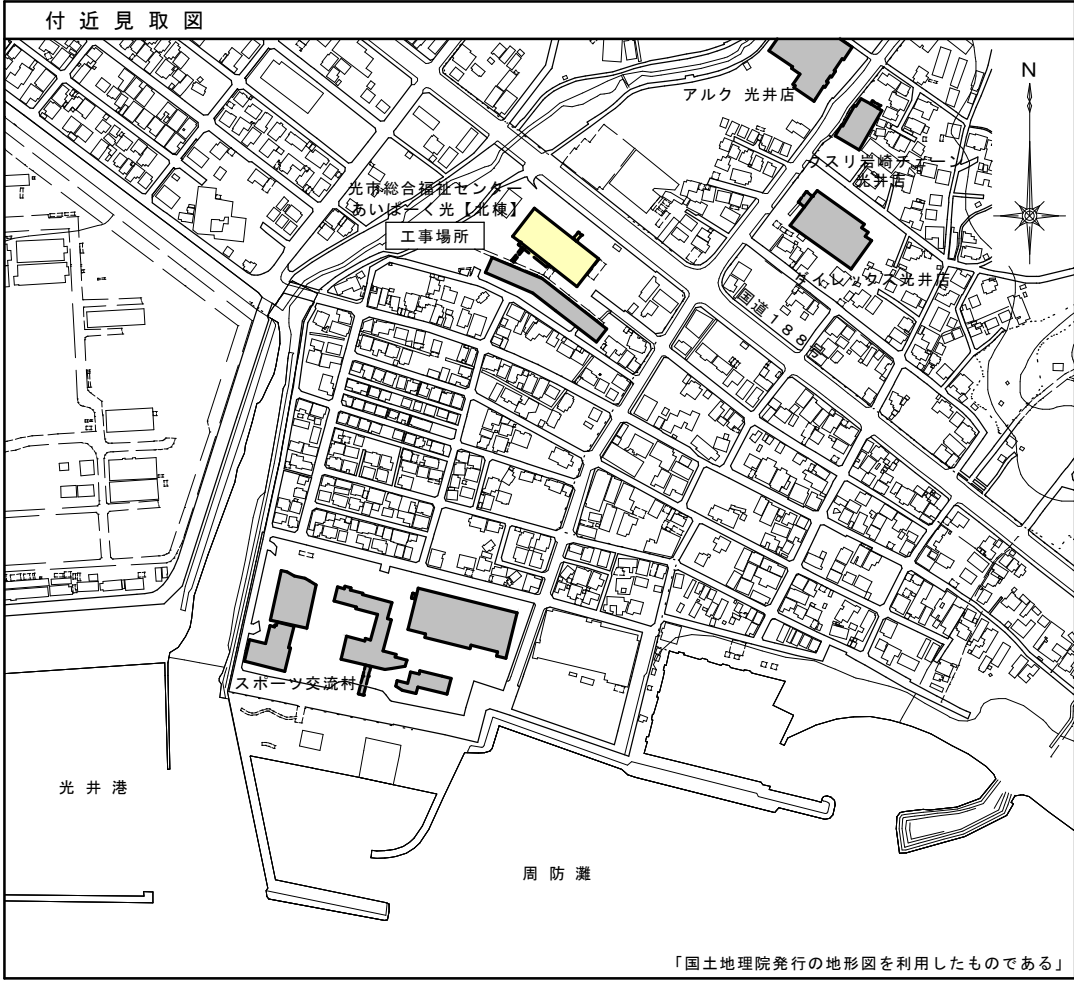
施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物
	・ 10-90 ・	・ アルミニウム及びアルミ ニウム合金の押出し成形板 ・	・ アルマイト	・ 角型 ・	・ 鋼製 ・ 樹脂製

カーテンレール幅は原則として、間口幅より両端それぞれ100mm程度延長する。
・ 屋上 材種 ステンレス製 寸法 (mm) 径550 径600 500×500
・ 鋼製 寸法 (mm) 径550 500×500
・ 有 ・ 無
・ 天井 材種 アルミニウム製 寸法 (mm) 450×450 600×600

用途区分	目地形状による区分
・ 一般形	・ 外枠・内枠とも額縁タイプ
	・ 外枠額縁・内枠目地タイプ
	・ 外枠目地・内枠額縁タイプ
	・ 外枠・内枠とも目地タイプ
・ 密閉形	・ 内枠のみ額縁タイプ

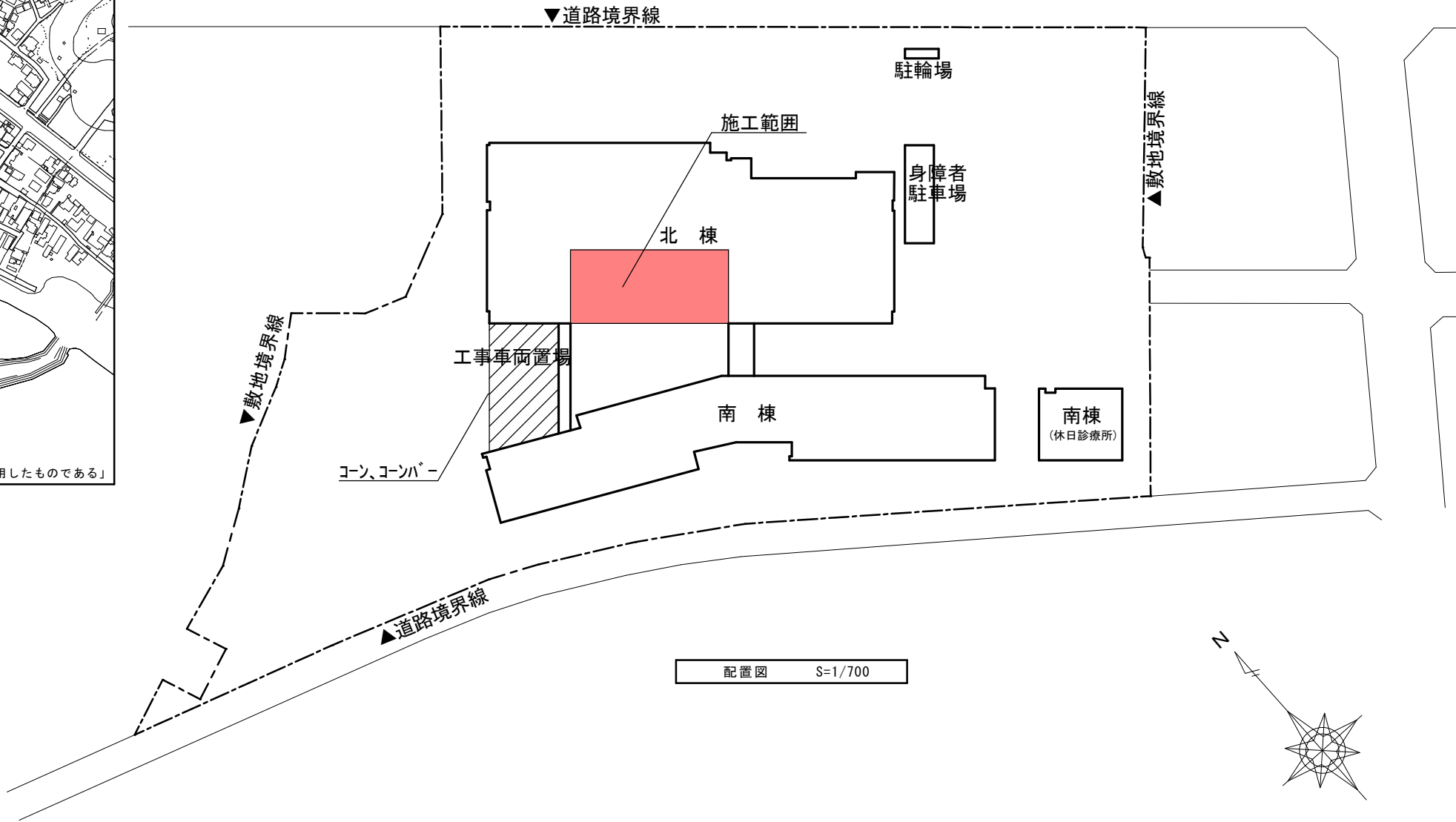
製造所 評価名簿による
錠 ・ 有 ・ 無

年度	工事名			
7	光市総合福祉センター改修工事	建築改修工事特記仕様書10-7	—	
光市建築住宅課	級建築士登録 第 号 印	設計変更 回	—	



工 事 概 要	
1	工事名称 光市総合福祉センター改修工事
2	工事場所 光市光井二丁目2番1号
3	用途地域 第一種住居地域、準住居地域
4	防火地域 指定なし
5	主要用途 福祉センター
6	敷地面積 13,613.22㎡
7	建物概要 工事種別：改修工事
	構 造：鉄筋コンクリート造 地上2階
	面 積：延床面積 4,908.57㎡
	建築面積 4,269.34㎡
8	平均地盤面 GL=SGL

※アスベストについては事前に調査(壁クロス、壁石膏ボード、天井岩綿吸音板、ソフト巾木)を行っており、ソフト巾木にアスベストが含有していた。
【試料採取日：令和7年6月21日、試料分析日：令和7年6月23日】



工事名称 光市総合福祉センター改修工事		設計番号 H-65-010
意	図名 工事概要・付近見取図・配置図 縮尺 1/700	図面番号 A-01
光 市 役 所		号 図
一級建築士登録321729号 小澤 透		R06年11月 日

<div>内部仕上表</div> <div>※改修は既設同等品とする。また、既設ソフト巾木はアスベストを含有しているため、撤去の際は細心の注意を払うこと。</div>														
改修	室 名	床高 天井高	下地	床	巾 木	高さ	下地	壁	下地	天 井	廻縁	備 考		改修
前	ふれあいロビー	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リTG1600(別注色)) 【一部撤去】	・木製巾木【一部撤去】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り MP(多彩模様塗) 【一部撤去】	LGS	・岩綿吸音板【存置】 ・GB-R 12.5【存置】	塩ビ	・展示パネル(1,400*2,200)【撤去】 ・木製手摺【仮撤去】、埋込型消火器BOX【撤去】		前
前	事務室(1)	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部撤去】	・ソフト巾木(東リTH22)【一部撤去】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【一部撤去】 ・仕上材(クロス)【一部撤去】	LGS	・岩綿吸音板【存置】 ・GB-R 12.5【存置】	塩ビ			前
前	事務室(2)	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部撤去】	・ソフト巾木(東リTH22)【一部撤去】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【一部撤去】 ・仕上材(クロス)【一部撤去】	LGS	・岩綿吸音板【存置】 ・GB-R 12.5【存置】	塩ビ	・スライド式キャビネット【移設】		前
前	相談室(1)	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部撤去】	・ソフト巾木(東リTH22)【撤去】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【撤去】 ・仕上材(クロス)【撤去】	LGS	・岩綿吸音板 t-9.0【一部撤去】 ・GB-R 12.5【一部撤去】	塩ビ	・照明ボックス・ルーバー【仮撤去】		前
前	相談室(2)	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部撤去】	・ソフト巾木(東リTH22)【存置】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【存置】 ・スチールパネーション W=4900 H=3200 t=71【仮撤去】	LGS	・岩綿吸音板 t-9.0【撤去】 ・GB-R 12.5【撤去】	塩ビ			前
前	更衣室	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部撤去】	・ソフト巾木(東リTH22)【撤去】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【撤去】 ・仕上材(クロス)【撤去】	LGS	・岩綿吸音板 t-9.0【撤去】 ・GB-R 12.5【撤去】	塩ビ	・手洗い【撤去】 ・鏡【撤去】		前
前	ミーティングルーム	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部撤去】	・ソフト巾木(東リTH22)【一部撤去】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【一部撤去】 ・仕上材(クロス)【一部撤去】	LGS	・岩綿吸音板 t-9.0【撤去】 ・GB-R 12.5【撤去】	塩ビ			前
前	介護保険調査員室	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部撤去】	・ソフト巾木(東リTH22)【存置】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【存置】 ・スチールパネーション W=4900 H=3200 t=71【仮撤去】	LGS	・岩綿吸音板 t-9.0【撤去】 ・GB-R 12.5【撤去】	塩ビ	・照明ボックス・ルーバー【撤去(一部仮撤去)】		前
前	物 置	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リTG1600(別注色)) 【存置】	・ソフト巾木(東リTH22)【存置】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【存置】 ・仕上材(クロス)【存置】	LGS	・岩綿吸音板【存置】 ・GB-R 12.5【存置】	塩ビ			前
後	ふれあいロビー	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リTG1600(別注色)) 【一部新設】	・木製巾木	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り MP(多彩模様塗)	LGS	・岩綿吸音板 ・GB-R 12.5	塩ビ	・木製手摺【加工・再設置】 ・埋込型消火器BOX【新設】		後
後	事務室	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部新設】	・ソフト巾木(東リTH22)	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【一部新設】 ・仕上材(クロス)【一部新設】	LGS	・岩綿吸音板【一部新設】 ・GB-R 12.5【一部新設】	塩ビ	・照明ボックス・ルーバー【一部新設】 ・スライド式キャビネット【移設設置】		後
後	相談室(1)	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165)	・ソフト巾木(東リTH22)【一部新設】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り ・スチールパネーション W=4900 H=3200 t=71【再設置】	LGS	・岩綿吸音板【新設】 ・GB-R 12.5【新設】	塩ビ			後
後	相談室(2)	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165) 【一部新設】	・ソフト巾木(東リTH22)【一部新設】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り 仕上材(クロス)【一部新設】 ・スチールパネーション W=4900 H=3200 t=71【再設置】	LGS	・岩綿吸音板【新設】 ・GB-R 12.5【新設】	塩ビ			後
後	更衣室	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リGA100-GA165)	・ソフト巾木(東リTH22)【一部新設】	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【一部新設】 ・仕上材(クロス)【一部新設】	LGS	・岩綿吸音板【新設】 ・GB-R 12.5【新設】	塩ビ			後
後	授乳室	FL-150 3,200	OAフロア (H-100)	・タイルカーペット(東リTG1600(別注色))	・ソフト巾木(東リTH22)	100	LGS	・GB-R t-12.5 2重張り【一部新設】 ・仕上材(クロス)【一部新設】	LGS	・岩綿吸音板 t-9.0 ・GB-R 12.5	塩ビ			後

ふれあいロビー

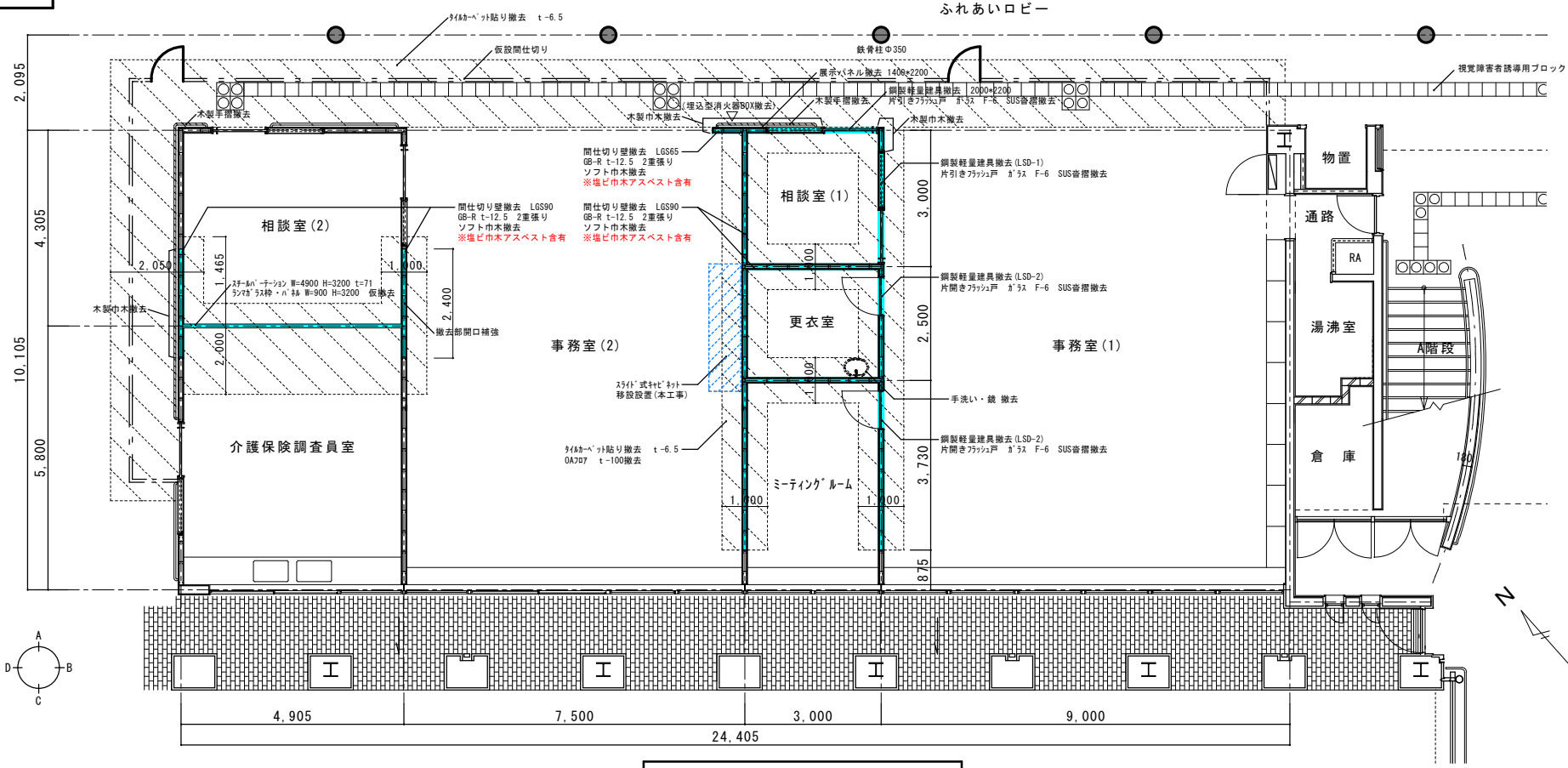
平面図(改修前) S=1/200

ふれあいロビー

平面図(改修後) S=1/200

工事名称 光市総合福祉センター改修工事		設計番号 H-65-010	
意 図 名	仕上表・平面図(改修前・後)	縮尺 1/200	図面番号 A-02
光 市 役 所			号 図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日

改修前

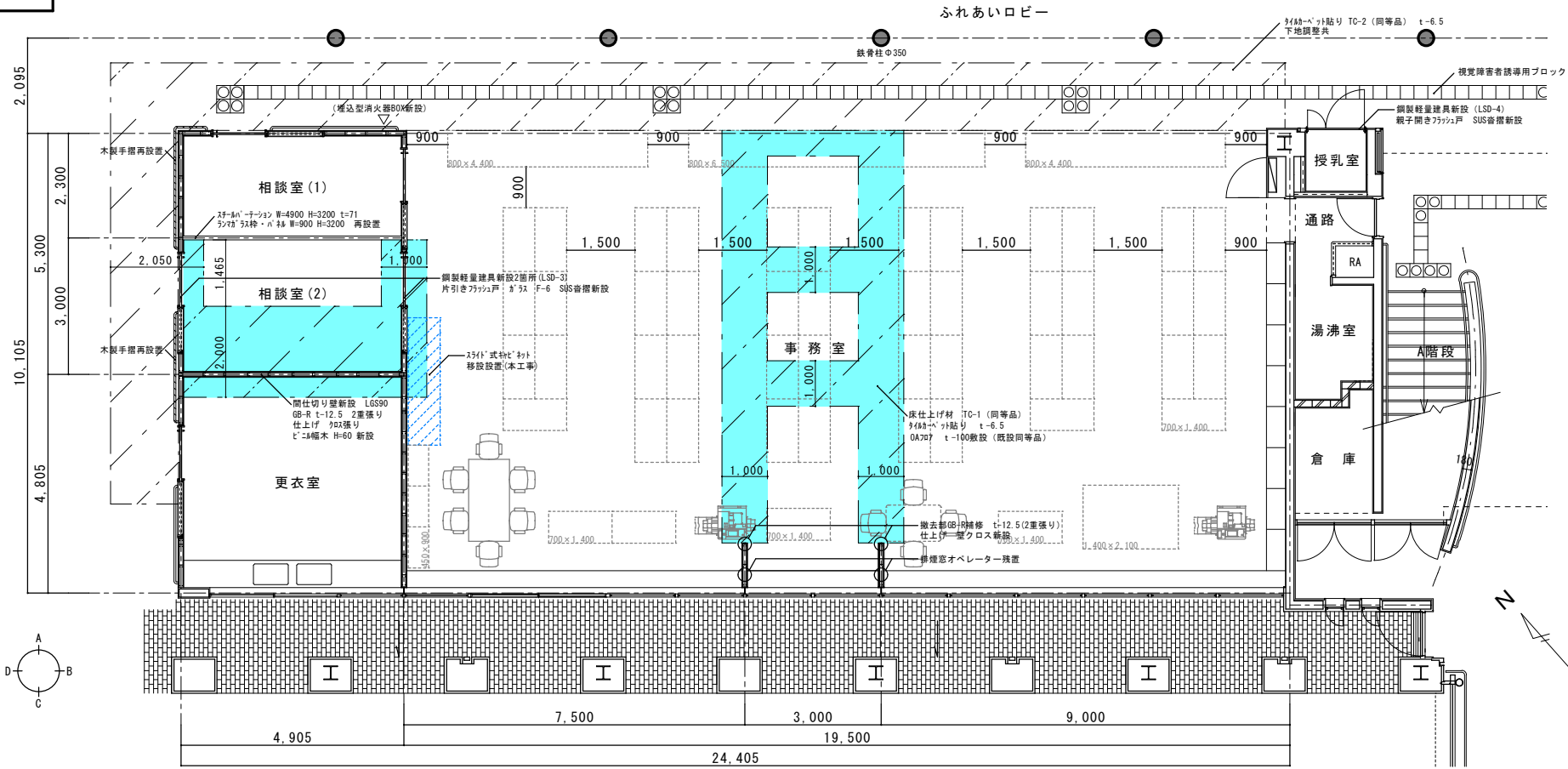


仮設間仕切仕様
LGS65+GB-R T=9.5片面張り(一般部)
工事終了後撤去・処分
仮設扉(施錠)
仮設間仕切撤去跡タイルカーペット貼替TC-2

既設O Aフロア仕様	
中央集中荷重(加圧板50Φ)	3000Nたわみ2.0mm以下
耐震性能	積載荷重 300kg/㎡—1.0G
パネルサイズ	500*500*t

平面詳細図(改修前) S=1/100

改修後

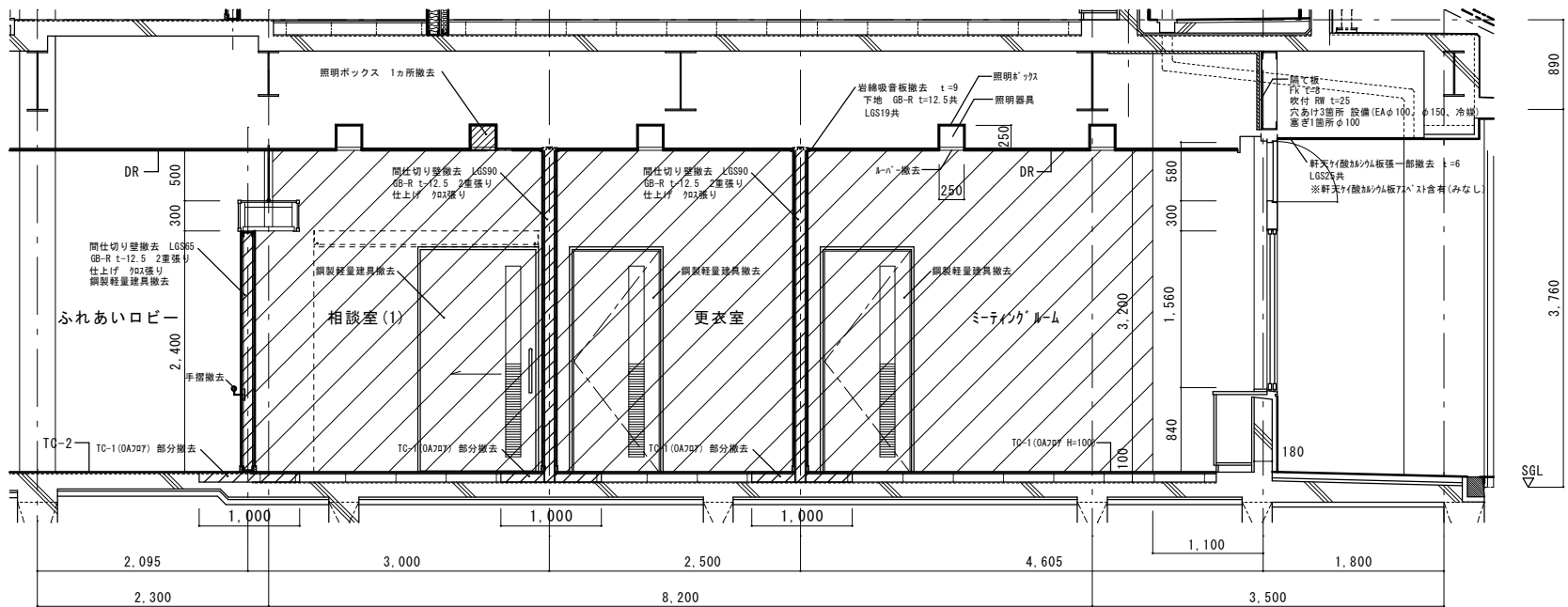


平面詳細図(改修後) S=1/100

凡例
...カーペット撤去及びO A復旧、新設加工

工事名称 光市総合福祉センター改修工事		設計番号 H-65-010
意	図名 平面詳細図(改修前・後)	縮尺 1/100
光市役所		図面番号 A-03
一級建築士登録321729号 小澤 透		号図 R07年 9月 日

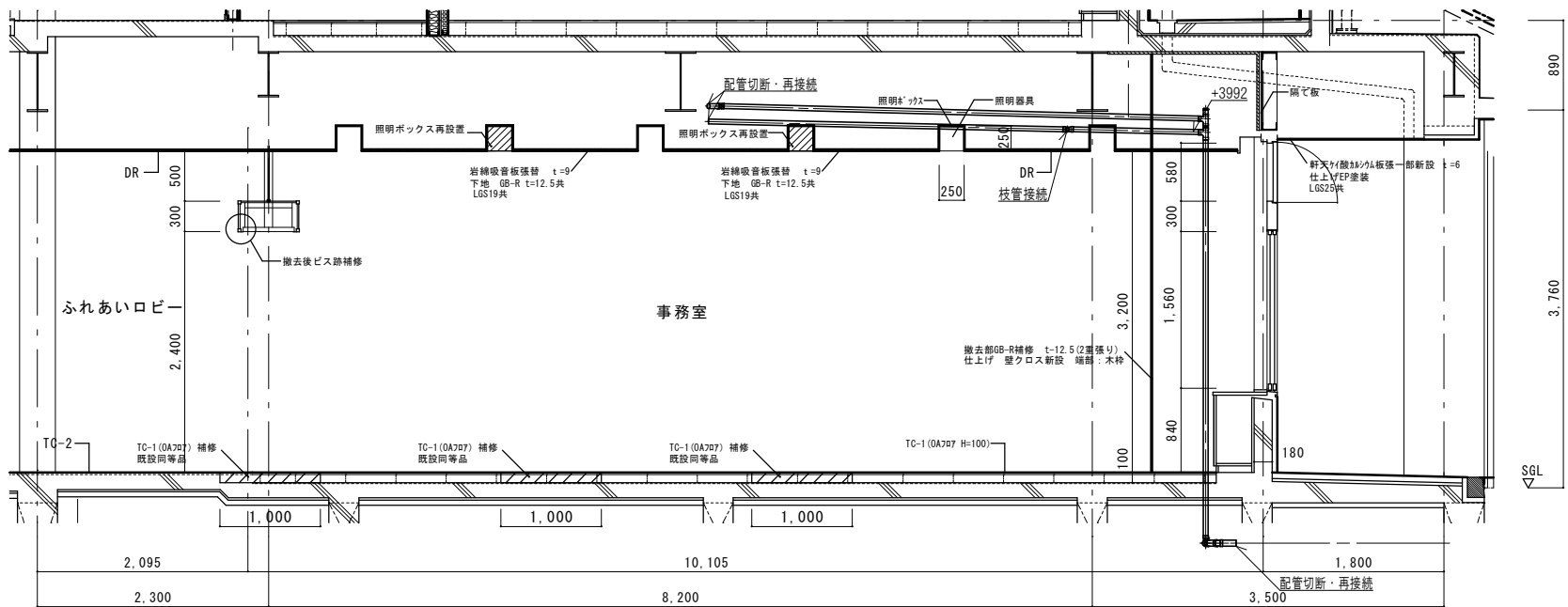
改修前



断面詳細図(改修前) S=1/50

凡 例	
	(既設壁撤去) クロス撤去 下地撤去 (GB-R t=12.5 2枚張り LGS90H450)

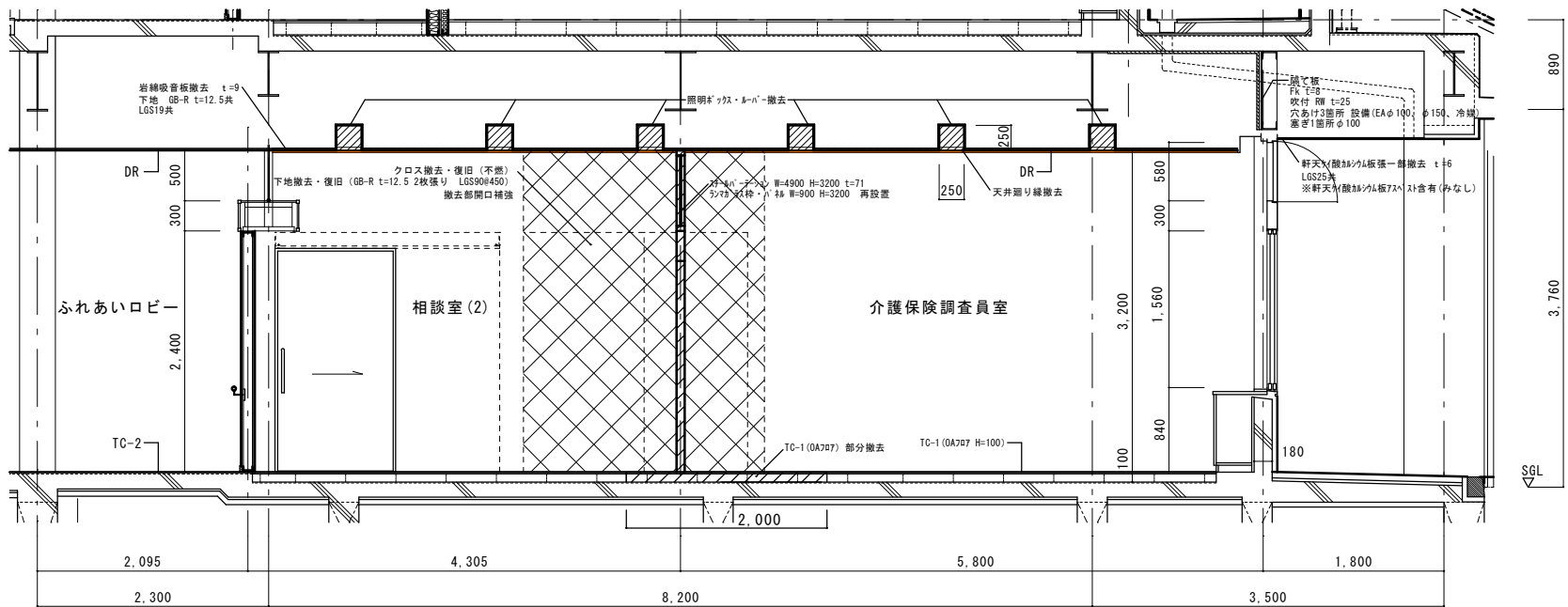
改修後



断面詳細図(改修後) S=1/50

工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
意	図名 断面詳細図(1)(改修前・後)	縮尺 1/50	図面番号 A-06
光 市 役 所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日

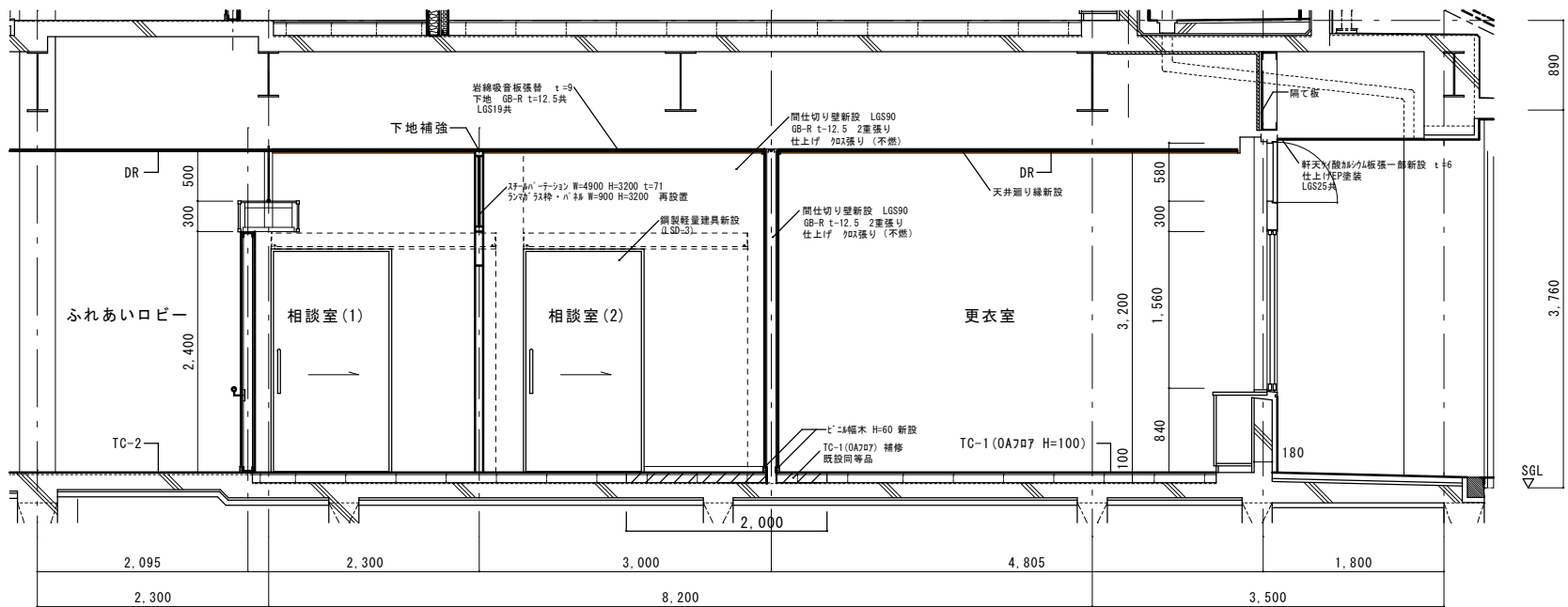
改修前



断面詳細図(改修前) S=1/50

凡 例	
	(既設置撤去・復旧)
	クロス撤去・復旧 (不燃)
	下地撤去・復旧 (GB-R t=12.5 2枚張り LGS90H450)

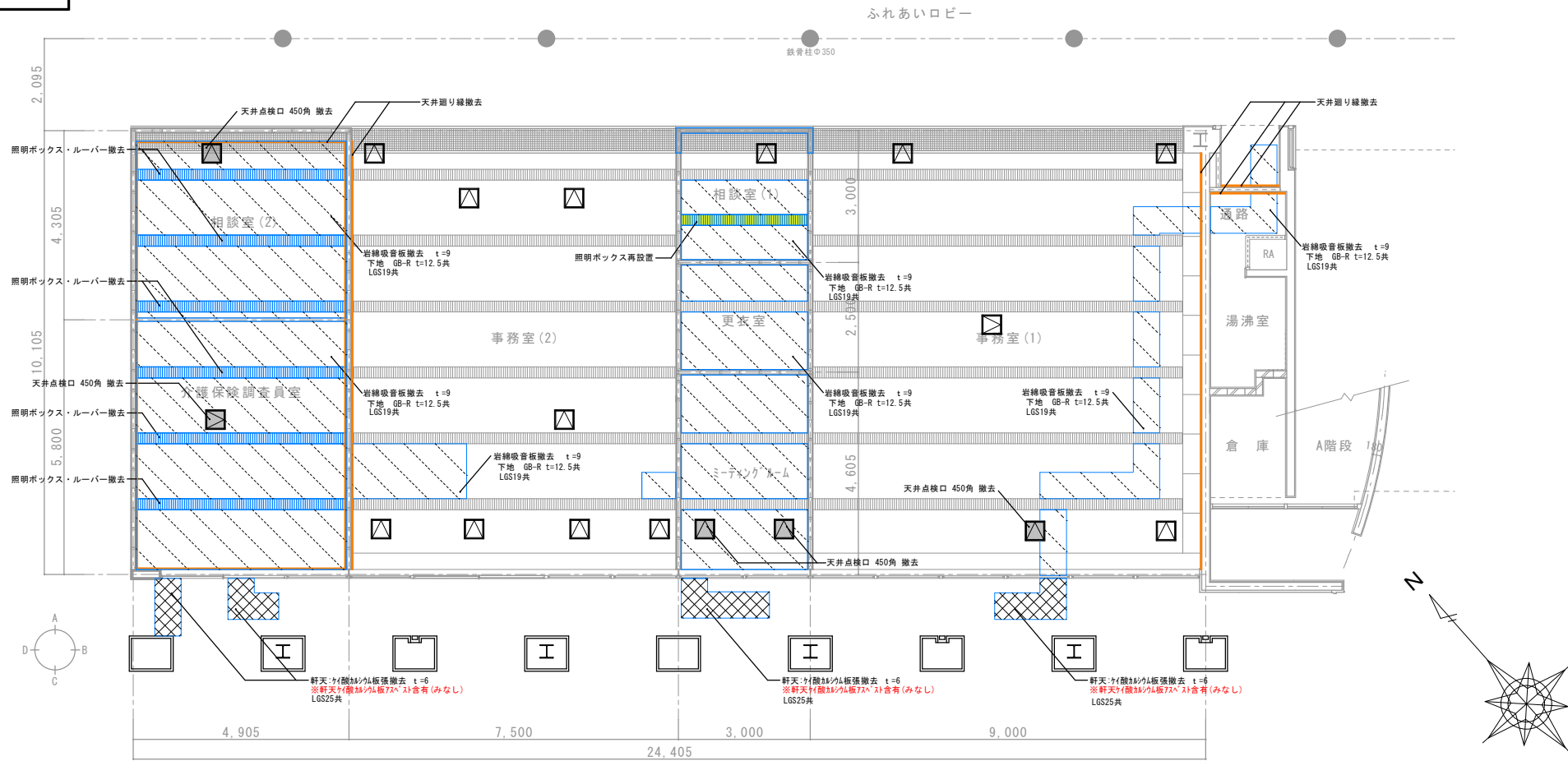
改修後



断面詳細図(改修後) S=1/50

工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
意	図名 断面詳細図(2)(改修前・後)	縮尺 1/50	図面番号 A-07
光 市 役 所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日

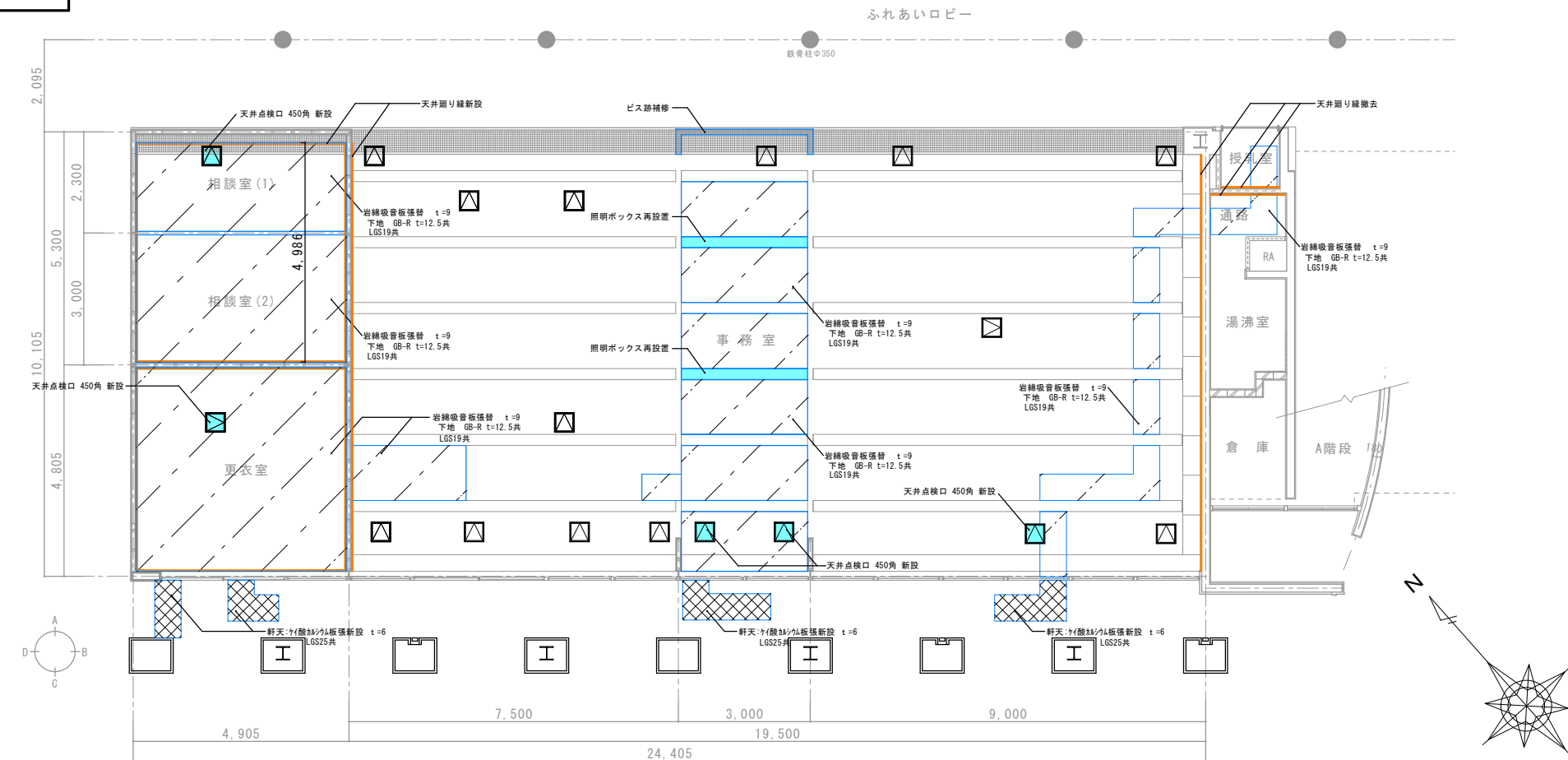
改修前



平面詳細図(改修前) S=1/100

※既設天井照明ボックスルーバーは全て取外し、撤去とする。

改修後



平面詳細図(改修後) S=1/100

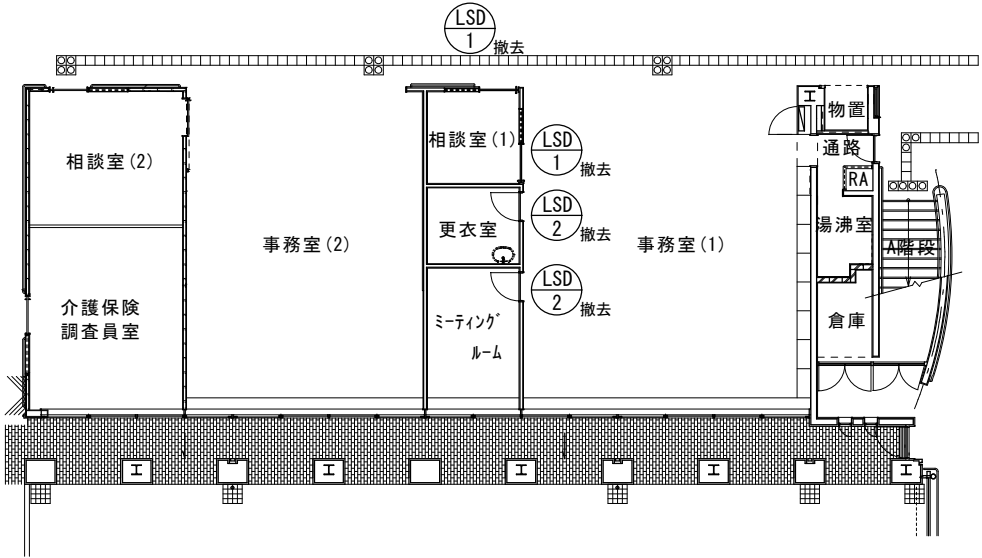
工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
意	図名 天井伏図(改修前・後)	縮尺 1/100	図面番号 A-08
光市役所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日

改 修 前

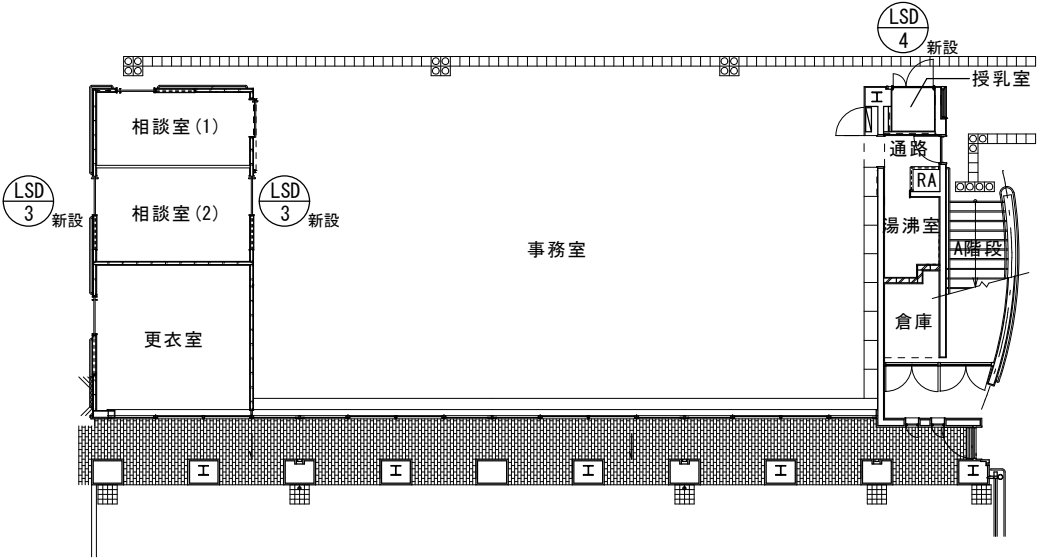
記号	形式	数量	<div>LSD 1</div> <div>撤去</div>	片引きフラッシュ扉	2	<div>LSD 2</div> <div>撤去</div>	片開きフラッシュ扉	2
姿図			▽FL					
				有効 1,050 1,200 ガリ		有効 850 ガリ		
材料仕上	見込	スチール		175 (40)		スチール		110 (40)
金物	硝子	標準金物一式、CL、SM、ガリ		F6		標準金物一式、CL、SM、ガリ		F6

改 修 後

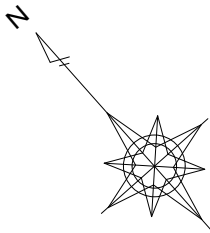
記号	形式	数量	<div>LSD 3 新設</div>	片引きフラッシュ扉 (壁収納タイプ)	2	<div>LSD 4 新設</div>	親子開きフラッシュ扉	1
姿図	開口補強 : C60×30×10×2.3				<div>550</div> <div>2.200</div> <div>▽FL</div> <div>有効</div> <div>1,050</div> <div>1,200</div>			
	<div>200</div> <div>2.200</div> <div>▽FL</div> <div>有効</div> <div>1,050</div> <div>1,200</div>				<div>550</div> <div>2.200</div> <div>▽FL</div> <div>ガリ</div> <div>850</div> <div>400</div> <div>300</div>			
材料仕上	見込	スチール	135 (40)		スチール	110 (40)		
金物	硝子	標準金物一式、CL、SM	-		標準金物一式、CL、SM、ガリ	-		



建具記号図(改修前) S=1/100



建具記号図(改修後) S=1/100



建具記号		ガラス記号	
記号	種別	記号	種別
SD	スチール製扉	FL	フロート板ガラス
SW	スチール製窓	F	型板ガラス
AW	アルミ製窓	PL	網入り磨き板ガラス
AD	アルミ製扉	T	強化ガラス
WD	木製扉		
WW	木製窓		
金物記号			
記号	種別		
DC	ドアチェック		
SM	サムターン		
CL	シリンダー錠		
FD	フランス落し		

工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
意	図名 建具表(改修前・後)	縮尺 1/300	図面番号 A-09
光 市 役 所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日

I

工 事 概 要

1

工 事 場 所

山口県光市光井2丁目2番1号

2

建 物 概 要

No.	建 物 名	構 造	階 数	棟 数	延面積 (㎡)	消防別表	備 考
1	福祉センター	SRC、S	+2、PH	1	4,853.91	15項、6項(口)	・新築○改修・増築・
2							・新築・改修・増築・
3							・新築・改修・増築・
4							
5							

3

工 事 種 目

(○印のついたものを適用し、各一式とする。)

工 事 種 目	建 物 名 称					工 事 種 目	建 物 名 称				
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
構内配電線路設備	・	・	・	・	・	構内交換設備	○	・	・	・	・
受変電設備	・	・	・	・	・	情報表示設備	・	・	・	・	・
電灯設備	○	・	・	・	・	映像・音響設備	・	・	・	・	・
動力設備	・	・	・	・	・	拡声設備	○	・	・	・	・
電熱設備	・	・	・	・	・	誘導・管理設備	・	・	・	・	・
発電設備	・	・	・	・	・	テレビ共同受信設備	○	・	・	・	・
電力貯蔵設備	・	・	・	・	・	監視カメラ設備	・	・	・	・	・
雷保護設備	・	・	・	・	・	火災報知設備	○	・	・	・	・
構内通信線路設備	・	・	・	・	・	中央監視制御設備	・	・	・	・	・
構内情報通信網設備	・	・	・	・	・	テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・
	・	・	・	・	・		・	・	・	・	・

II

工 事 仕 様

1

共通仕様

図面および特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事)け令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という)、「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準図」という)、「JIL公共施設用照明器具(2022年版)」、「山口県電気設備工事施工監理要領(建築指導課作成)(以下「施工監理要領」という)」による。

URL参照：施工監理要領 (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/oms/a18800/eizen/eizen_youshiki.html)

2

特記事項の適用方法

(1)

種目(設備)は○印がついたものを適用する。

(2)

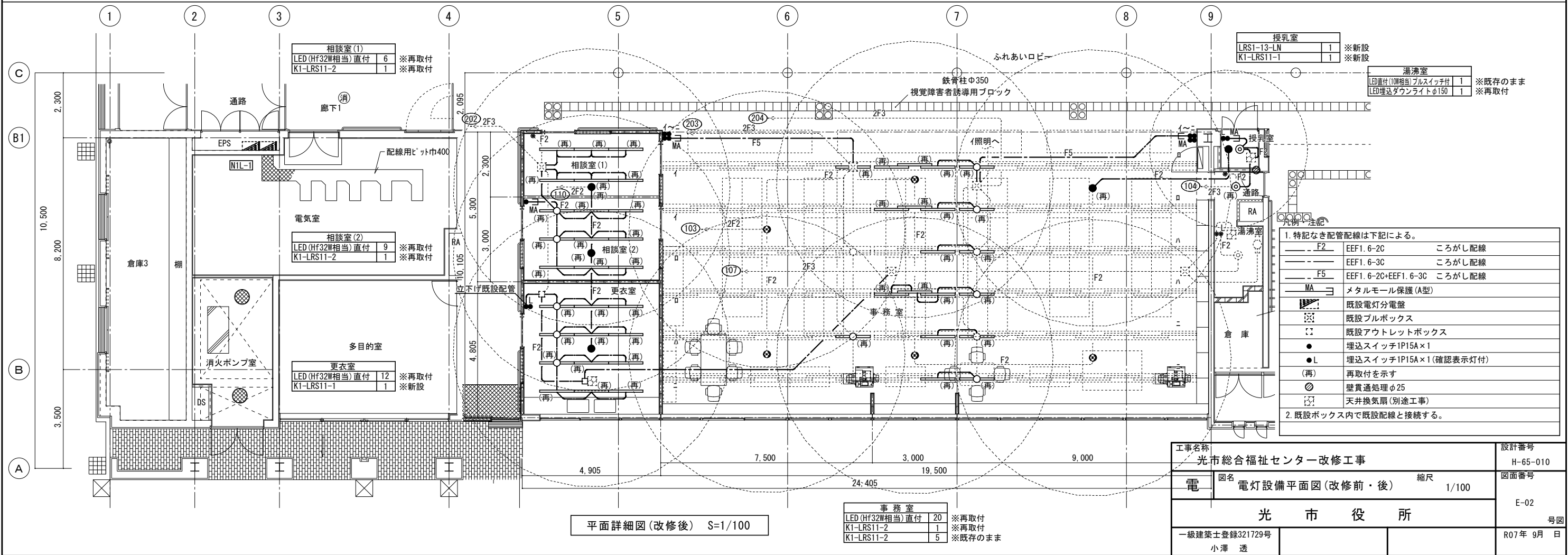
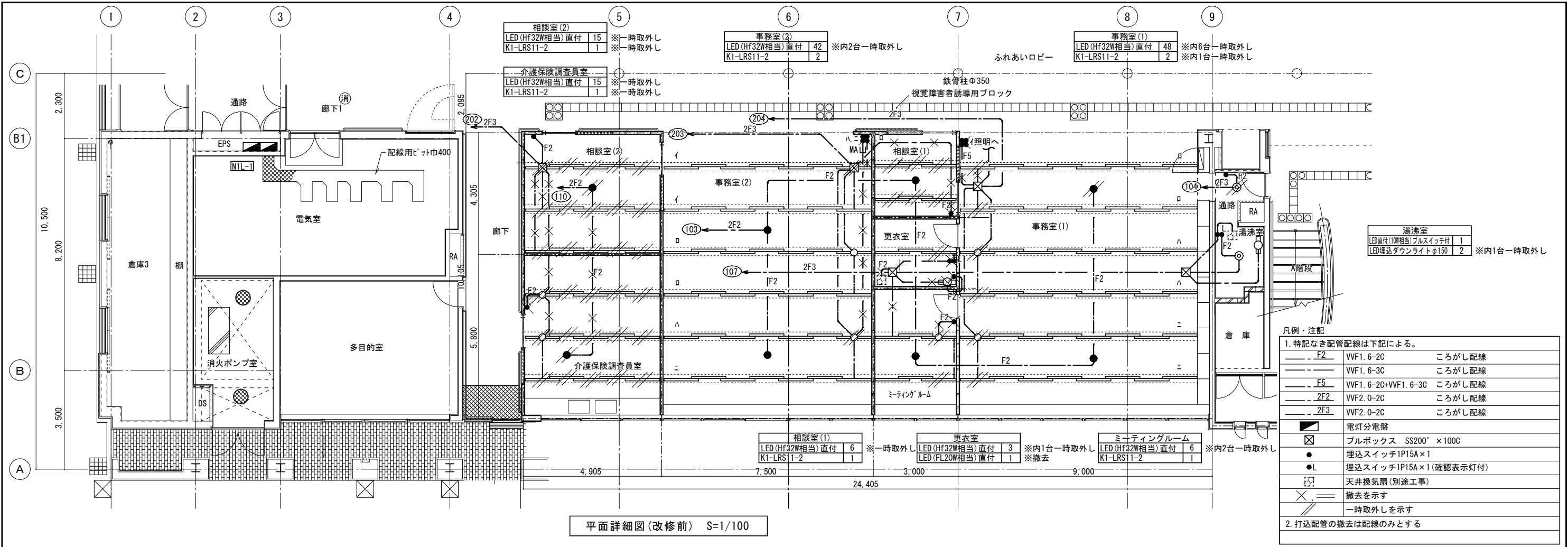
特記事項は○印のついたものを適用する。・印は適用しない。

○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。

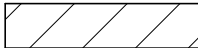
種 目	項 目	特 記 事 項												
一般共通事項	耐震性能	設計用標準水平震度(Ks) <table><tr><td></td><td>1階・地階</td><td>中間階</td><td>上層階等</td></tr><tr><td>・</td><td>特定の施設 1.0(1.0)</td><td>1.5(1.5)</td><td>2.0(2.0)</td></tr><tr><td>○</td><td>一般の施設 0.6(1.0)</td><td>1.0(1.5)</td><td>1.5(2.0)</td></tr></table> ()内は防震支持の場合に適用 一般の施設：山口県営施設における耐震安全性の分類において、建築設備乙類に分類される施設を示す。		1階・地階	中間階	上層階等	・	特定の施設 1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)	○	一般の施設 0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)
	1階・地階	中間階	上層階等											
・	特定の施設 1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)											
○	一般の施設 0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)											
耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 風速 (m/s) ※ 3 4 地表面粗度区分 (・ II ※ III) 垂直積雪量 ※ 0.3 m ・ () m													
施工調査	※ 施工に先立ち改修工事関連部分の事前確認を行い、監督職員に報告書を提出する。 ※ 撤去する照明器具がある場合は、PCBの有無を確認し、監督職員に報告書を提出する。 ・ 撤去する変圧器等の微量PCB分析を行う。(分析費用 ※ 本工事 ・ 別途)													
発生材の処理等(1.3.9)	発生材の処理にあつては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設副産物適正処理推進要綱」、「建設廃棄物処理指針」、「入札条件及び指示事項」その他関係法令等に従い適切な処理を行う。													
舗装切断及び穿孔	切断及び穿孔作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から撤出する場合は、撤出時点での排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合は特別管理廃棄物として処理すること。 pHの測定方法 (※ 携帯式簡易測定器 ・) 監督職員へマニフェストと共にpHの測定結果の提示を行うこと。													
残土処分	※ 場外搬出処分 ・ 場内指示の場所に敷き均し ・ 場内指示の場所にたい積													
環境負荷	山口県グリーン購入の推進方針及びグリーン購入ガイド(最新版)に基づき材料の調達を行う。 (以下「グリーン購入による」という)													
環境への配慮(1.4.1)	化学物質を放散させる建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。													
着工時の提出図書	工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 ※ 工事用製本図面(工事用A2版) () 部 (縮小版A3版) () 部													

特殊車両

表示器	天井下~中心
-----	--------



電灯分電盤 N 1 L-1 (改修図) (参考)



改修箇所を示す。
※本工事に関する回路行先変更がある箇所は、名称変更する事。

電圧 (V)	回路名称	回路番号	回路番号	回路名称	電圧 (V)
100	防災アンプ	A	B	機械警備その他	100
100	自動火災報知機	C	D	誘導灯信号装置	100
100	誘導灯	E		スペース	
	スペース			スペース	

MCB3P
225AF/225AT

電圧 (V)	回路名称	回路番号	回路番号	回路名称	電圧 (V)
100	守衛室、便所電灯	101	102	廊下1電灯、非常灯	100
100	支援センター、会議室非常灯	103	104	ふれあいロビー電灯	100
100	予備	105	106	湯沸、消毒、洗濯室非常灯	100
100	更衣(支援)、湯沸室電灯	107	108	西玄関(外灯)	100
100	喫煙コーナー	109	110	予備	100
200	湯沸1、更衣、ゴミ庫電灯	201	202	会議室、倉庫電灯	200
200	支援センター、相談室電灯	203	204	事務室2電灯	200
200	廊下(ボックス)電灯	205	206	外灯(多目的広場庫)	200
200	予備 ⇒更衣室エアコン	207	208	予備	200
100	廊下コンセント	301	302	更衣室、倉庫コンセント	100
100	消毒、脱衣室コンセント	303	304	湯沸室コンセント	100
100	湯沸1コンセント	305	306	ゴミ庫(排水ポンプ)	100
100	男子便所コンセント	307	308	女子便所コンセント	100

※MCB2P20Aを撤去
ELB2P20Aを新設

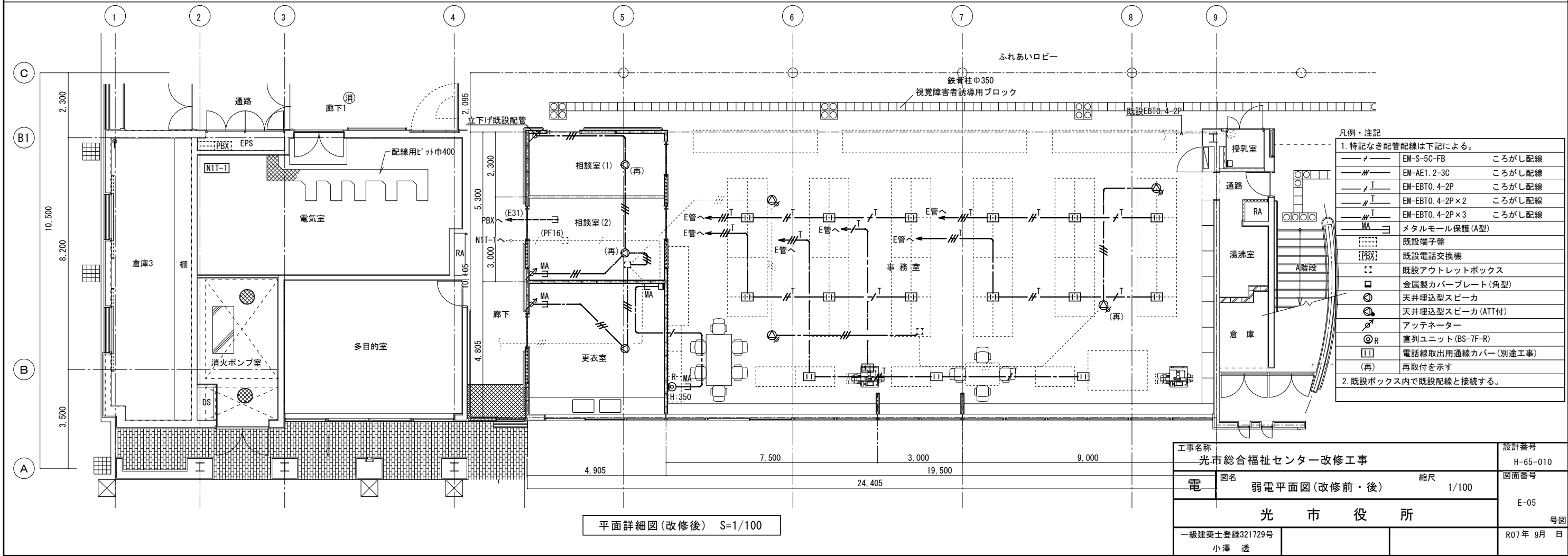
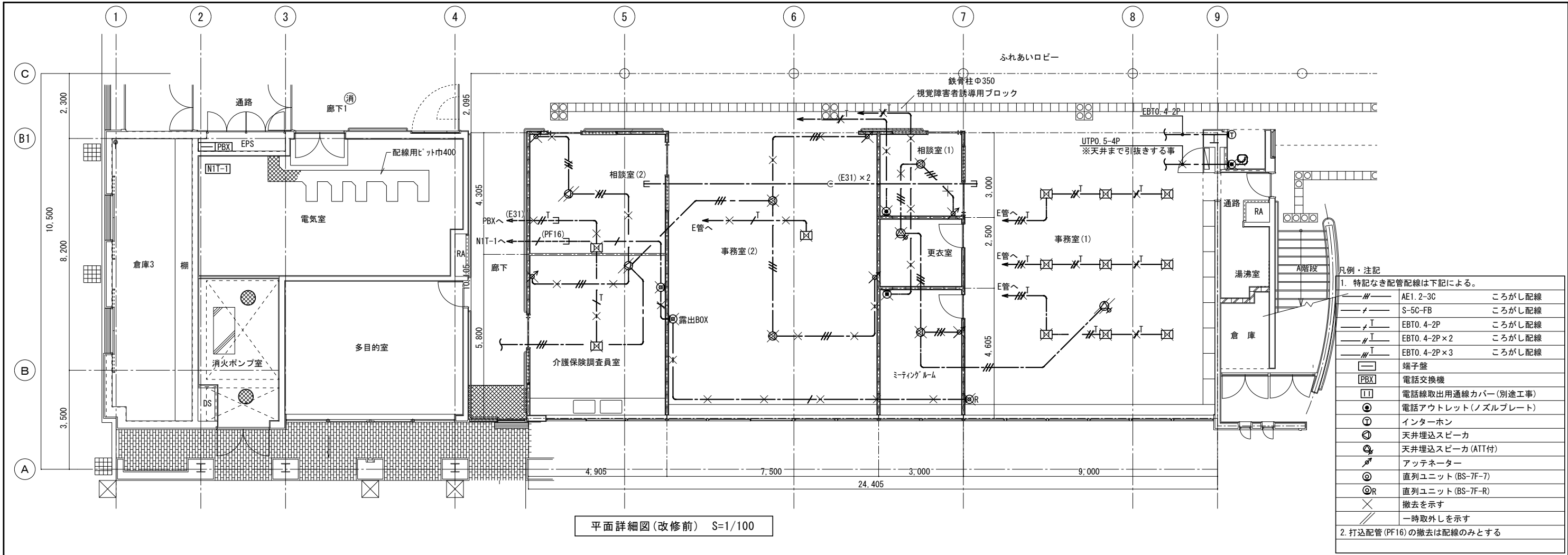
100	電気室	310	311	会議室	100
100	ふれあいロビー	312	312	倉庫、屋外	100
100	支援センター(事務室(2))	313	314	支援センター(事務室(2))	100
100	支援センター(事務室(2))	315	316	相談、打合せ室⇒機器用	100
100	事務室(1)	317	318	事務室(1)	100
100	事務室(1)	319	320	湯沸し室2	100
100	湯沸し室2、倉庫4	321	322	ふれあいロビー	100
100	ふれあいロビー	323	予備1⇒機器用	100	
100	倉庫4オンライン用	325	326	廊下、更衣、資料室(FCU)	100
100	会議4、支援、打合2(FCU)	327	328	守衛室エアコン	100
100	自動ドア(廊下2)	329		監視モニター電源	100
100	トイレ呼出電源			警報盤電源	100
100	予備2⇒機器用			T V増幅器電源	100
100	リモコントランス				

※MCB2P20Aを撤去
ELB2P20Aを新設

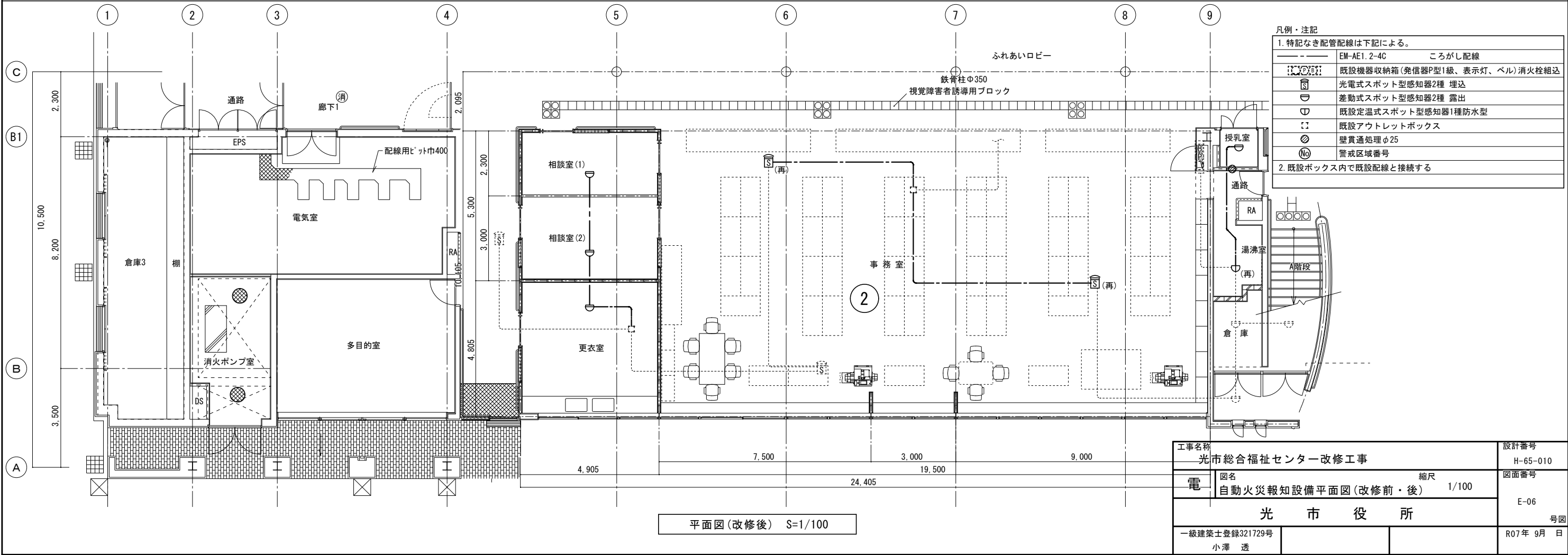
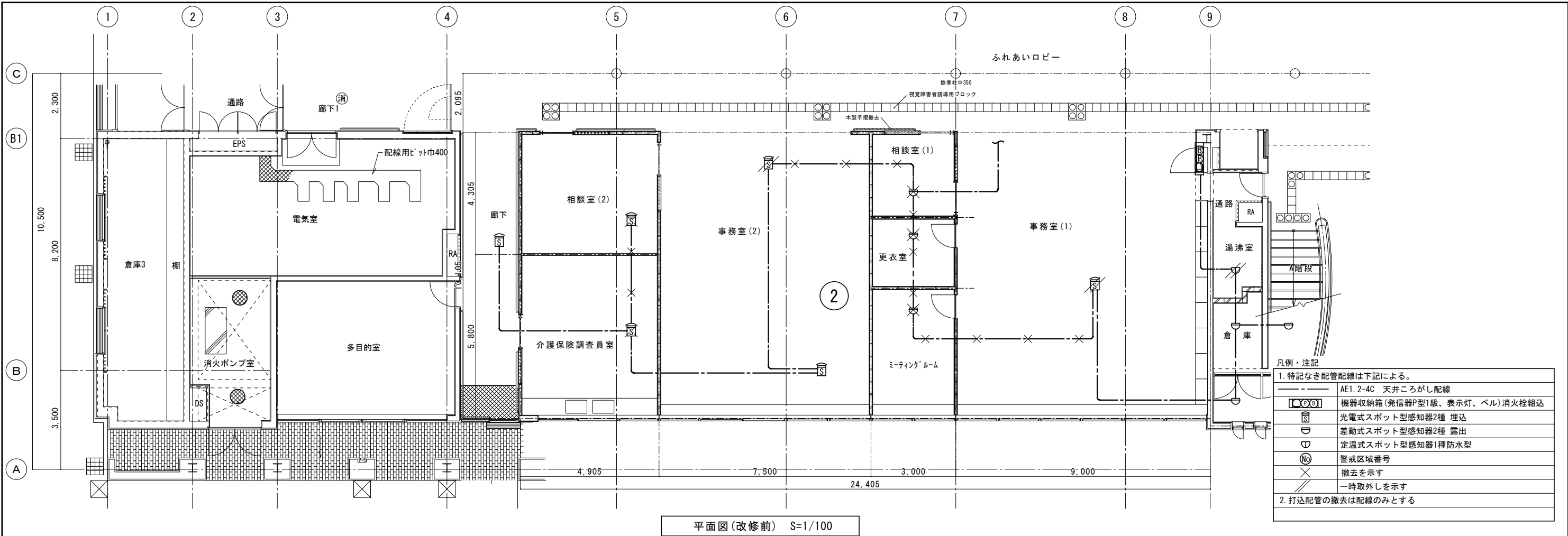
※MCB2P20Aを撤去
ELB2P20Aを新設

※MCB2P20Aを撤去
ELB2P20Aを新設

工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
電	図名 電灯分電盤結線図(改修図)	縮尺 N. S	図面番号 E-04
光市役所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日



工事名称	光市総合福祉センター改修工事	設計番号	H-65-010
電 図名	弱电平面図(改修前・後)	縮尺	1/100
図面番号	E-05	号図	R07年 9月 日
一級建築士登録321729号	小澤 透		



工事名称 光市総合福祉センター改修工事		設計番号 H-65-010	
電	図名 自動火災報知設備平面図(改修前・後)	縮尺 1/100	図面番号 E-06 号図
	光市役所		
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日

一般共通事項

31

保温

イ) 下記の倉庫・設備室等の配管、ダクトの保温は、屋内露出（一般居室、廊下）に読み替える。

- ・ 機械室
- ・ ポンプ室
- ・ 電気室
- ・ 自家発電室
- ・ 倉庫

ロ) 給湯管、温水管、冷温水管で、下記施工箇所は、次に示す保温の種別を適用し、保温材は、ポリスチレンフォーム保温材を硬質ウレタンフォーム保温材に読みかえる。

※ 地中埋設 d・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 D・(n)・Ⅲ（冷温水）

※ 屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所 e₂・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 E₂・(n)・Ⅲ（冷温水）

※ 暗渠内（ビット内を含む。） d・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 D・(n)・Ⅲ（冷温水）

32

塗装

下記部分のビニル管はカラーVPとし、塗装を行わない。

※ 屋内露出部分 ※ 屋外露出部分

33

防食処理

標準仕様書によるほかコンクリート内の鋼管(排水用を含む)はプラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。（但し外面樹脂被覆鋼管は除く）

34

着工時の提出図書

工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。

※工事用製本図面（工事用A2版）（ ）部（縮小版A3版）（ ）部

35

完成時の提出図書

作成方法は「山口県営繕系工事完成図作成要領」、「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き」〔営繕系工事編〕」による。提出図書は以下のとおり。

※竣工図A3版（ 1 ）部、C A Dデータ共 施工図A3版（ 1 ）部、C A Dデータ共

※黒表紙付きA4版(工事名、工期、受注者名を記入)に次の図書を製本したもの。

※ 竣工図 ※ 施工図 ※ 機器図(保証書の別共) ※ 各種試験成績表

※ 取扱説明書(保全に関する指導案内書を含む) ※ 各種申請済書類のコピー

※ 公的機関の検査済証 ※ 工事担当者名簿 ※ 下請業者届 ※ 主要材料届 ※ 施工体系図

提出部数 ・ 学校施設 1部 ○ 学校施設以外 1部

※施工計画書 1部

36

工事写真

下記のものを経営職員に提出する

分類	規格	撮影場所	部数	備考
※ カラー	※ サービス版(L版)	適宜	1部	電子データ共

電子データの提出方法については「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き」〔営繕系工事編〕」による。

工事写真は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部「工事写真撮影ガイドブック」、「営繕工事写真撮影要領(最新版)」及び「デジタル工事写真の黒基板情報電子化基準」による。

完成時に1部提出する。

37

工事日報

38

他工事との取合い

イ) ・ すべて本工事 ※ 図面特記のない場合、下表による

ロ) 他工事との取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

他工事との取合い		建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋め込み盤、フルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	※	・	・
	電気のスリーブ等	・	※	・
	機械のスリーブ等	・	・	※
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井のボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強	※	・	・
	電気墨出し	・	※	・
	機械墨出し	・	・	※
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット	※	・	・
	電気墨出し	・	※	・
天井点検口		※	・	・
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・	※	・
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	※	・
	機械設備	・	・	※
機器類の取付用アンカーボルト	電気設備	・	※	・
	機械設備	・	・	※
コンクリート基礎（外灯設備）		・	※	・
コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置	※	・	・
	屋内設置	・	・	・
	屋外設置	・	・	・
オイルサービスタンク防油堤		※	・	・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びび ¹ ア ² フェック、フ ³ ア7 ⁴ エン ⁵		※	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強		※	・	・
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強		・	※	・
外壁取付けガラリ		※	・	・
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）		※	・	・
建築工事に含む設備機器附属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側	・	※	・
	2次側（調整含む）	※	・	・
機械設備工事に含む設備機器附属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側	・	※	・
	2次側（調整含む）	・	・	※
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続		・	※	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管		・	※	・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線		・	・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付		・	・	※
エアコンの屋内機、屋外機間の渡り配線（アース共）		・	・	※
換気機器用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付		・	※	・
換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）		・	※	・
機械設備工事に含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線		・	※	・
機械設備工事に含む電極の配管・配線		・	※	・
擬音装置の埋込ボックス		・	・	※
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線		・	※	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配管		・	※	・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配線		・	・	※
ガス給湯器等のアース配線		・	・	※
屋内、屋外雨水管		※	・	・

1

設計用温湿度条件

	外気条件		室内(調整目標値)			
	温度 (D B)	湿度 (R H)	室名 空調対象室		室名	
			温度 (D B)	湿度 (R H)	温度 (D B)	湿度 (R H)
夏期	33.4℃	63.3%	26.0℃	50.0%	—℃	—%
冬期	2.0℃	57.9%	22.0℃	40.0%	—℃	—%

2

機器選定能力

機器の冷房・暖房能力は定格能力による選定とし、図示能力以上の機器を選定する。

3

冷水・温水・冷温水
膨張・空気抜・補給水

※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452] ・ 配管用ステンレス鋼鋼管 [JIS G 3459]

4

ドレン管・通気管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452]

・ カラー硬質ポリ塩化ビニル管(ｶﾗｰVP)（露出部分） [JIS K 6741]

○ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) [JIS K 6741] または

ｳﾚﾀﾝ硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP) [JIS K 9798]（原則RF-VP）

（区画貫通部にRF-VPを使用する場合は区画貫通処理を施すこと）

5

冷却水管

※ 塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA） [JWWA K 116, WSP 011]

6

蒸気給気管

※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452]

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS G 3452] ・

7

蒸気還水管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS K 3452] ・ 外面被覆鋼管

8

油・油用通気管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS G 3452] ・ 外面被覆鋼管 ・

9

冷媒管

※ 断熱材被覆鋼管 [JCDA 0009]

※ 2種管又は3種管を使用する。

改修時において火気を使用してはならない箇所については、JCDA0012によるメカニカル継手を使用してもよい。

10

ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ用冷媒

冷媒はHFCとする。

11

弁 類

JIS 5 Kとする。ただし特記部分は、JIS 10 K とする。

12

瞬間流量計及び
流量測定口

イ) 形式はビトー管式（コック付）とする。 ※着脱式 ・固定式

ロ) 標準仕様書によるほか下記及び図示の箇所にも取付ける。

- ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口
- ・ 瞬間流量計
- ・ 測定用タッピング
- ・ 冷温水ヘッダーの各送り管
- ・ 瞬間流量計
- ・ 測定用タッピング
- ・ ユニット形空調機の冷温水入口
- ・ 瞬間流量計
- ・ 測定用タッピング

13

温度計

標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。

・ ユニット形空調機周辺の還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト

14

ﾊﾞｯｸｴｰｼﾞ形空調機
(ｽﾏﾙﾄﾊﾞｯｸｴｰｼﾞ形及び
ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝﾄｰﾎｯﾌﾟ式
を含む)

※ 冷暖房能力はJIS B 8616による。（ただし、GHPはJIS B 8627による。）

※ 屋内機、屋外機ともアース線をとる。

※ 屋外機は防振パット敷きの上、ダブルナットにて固定する。

※ 高さが1000H以上の室外機は転倒防止措置を講じる。

（ただし、耐震計算書により転倒しないことが確認された場合を除く）

※ 定格電流値が20Aを超える機器は、高調波対策（アクティブフィルター）を施す。

15

ﾌﾗﾝｺｲﾙｳﾆｯﾄ

イ) ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁(・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形)を取付ける。

ロ) カセット形の風量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。

16

放熱器

放熱器弁及びレターンコック又はトラップを取付ける。

17

吹出口・吸込口

枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ※ アルミニウム製 (○ 着色する ・ 着色しない)

18

ダクト

長方形ダクトは ○ アングルフランジ工法

○ コーナーボルト工法（適用範囲は標準仕様書による）

円形ダクトは ○ スパイラルダクト

厨房用排気ダクトはフランジ接続とし、板厚は以下のとおりとする。

長方形ダクトの場合

ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を超え1200以下	0.6以上	0.8以上
1200を超え1800以下	0.8以上	1.0以上
1800を超えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合

円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上
750を超え1000以下	0.6以上	0.8以上
1000を超え1250以下	0.8以上	1.0以上
1250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

19

フレキシブルダクト

吹出口、吸込口ボックスの接続用以外にも、機器との接続用として使用してもよい。

20

ダンパ

軸受けはベアリングとする。

21

フィルターの予備品

各種フィルターの予備品は下記による。

※ 100%（ ） ・ 50%（ ） ・

22

消音内貼り

イ) 図示のダクト並びにチャンバーの保温材は、グラスウールとする。

ロ) 内貼りチャンパー類の寸法は、外形寸法とする。

ハ) 内貼りしたチャンバーの図示の箇所には点検口を取付ける。

点検口の大きさは原則として400×600とする。

23

煙 道

イ) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm ・

ロ) ばい煙濃度計 ・ 設置 ・ 不設置 ・ 取付座を設置

ハ) ばいじん量測定口80φ（大気汚染防止法による） ※ 設置 ・ 不設置

24

オイルサービスタンク

イ) 液面制御装置 ※ 取付ける ・ 取付けない

機能 ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動、停止

・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠方警報接点

ロ) 油面計はゲージ式（側圧式）とする。（警報接点 ※ 無し ・ 有り）

25

地下オイルタンク

イ) 据付け方法は標準図 ・ 施工33,35

・ 施工32,34（鋼製強化プラスチック製二重殻）

ロ) タンクの保護被覆 ・ ウレタンエラストマー樹脂 ※ エポキシ樹脂

・ 強化プラスチック二重殻

26

保 温

ハ) 遠隔油量指示計 ※ 取付ける（※ 抵抗変式式 ・ 磁変式 ・ ）

・ 取付けない

二) 基礎杭 ※ 不要 ・ 要 （ ・ 本工事 ・ 別途工事）

ホ) 土留め工事 ※ 不要 ・ 要 （ ・ 本工事 ・ 別途工事）

イ) 天井内の空調ドレン管 ※ 保温する ・ 保温しない

ロ) 屋内露出の空調ドレン管 ※ 保温する ・ 保温しない

ハ) 暗渠内、パイプシャフト内の空調ドレン管 ・ 保温する ※ 保温しない

二) 屋内露出冷媒配管の外装材 ※ 保温化粧ｶｰｽ(塩ﾍﾞ製) ・

ホ) 屋外露出冷媒配管の外装材 ・ 保温化粧ｶｰｽ(塩ﾍﾞ製) ※ ステンレス鋼板

ヘ) スパイラルダクトの保温 ※ ｸﾞﾗｽｶｰﾙ保温板 32K ・ ｸﾞﾗｽｶｰﾙ保温板 40K

ト) 全熱交換器外気側の保温（25mm厚）施工 ※ 給気ダクト ※ 排気ダクト

チ) 厨房用排気ダクト外(隠ぺい部)の断熱 ※ 行う (h・(f)・IX) ・ 行わない (ﾚｼﾞﾌｫｰﾄﾞ含む)

リ) 空調室を通る外気取入れ用ダクト (天井内を含む) ※ 保温する ・ 保温しない

1.

和風大便器の耐火処理

標準図（施工67（b））により施工する場所（ ）

2.

大便器用便座

原則として普通便座を使用するが、温水洗浄便座等を使用する場合は図中特記による。

1

配管材料

イ) 一般配管用 ※ 水道用塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA） [JWWA K116, WSP 011]

ロ) 土間配管用 ※ 内外面塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） [JWWA K116, WSP 011]（コンクリート埋設を含む）

ハ) 屋外地中配管用 ・ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） [JIS K 6742]

・ 内外面塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） [JWWA K116, WSP 011]

・ 水道配水用ポリエチレン管 [JWWA K 144]

・

二) H1VP管の接合 ※ 75φ以上はR継手による接合（離脱防止金具取付）

ホ) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。

2

管端防食継手

※ 使用する（標準仕様書による）

3

弁 類

※ 弁類は、JIS 10 K とする。

・ 高置水槽以降の配管に使用するものは、JIS 5 K とする。

※ 量水器樹、給水引込部の止水栓、弁樹は水道事業者の指定品を優先する。

4

緊急遮断弁装置

イ) 遮断弁駆動方式 ※ 電気式 ・ 機械式

ロ) 地震感知器 ※ 電子式 ・ 機械式

5

水栓柱

※ 合成樹脂製（内部コンクリート） ・ アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼製

工事名称

光市総合福祉センター改修工事

設計番号

H-64-034

機

図名 機械設備特記仕様書 2

縮尺 N/S

図面番号

M-02

光 市 役 所

一級建築士登録321729号 小澤 遼

号図

R07年 9月 日

A3版 50%縮小

分類	機材名	摘要	製造業者名
ボイラー	鋼製簡易ボイラー 鋳鉄製ボイラー 鋼製小型ボイラー 鋼製ボイラー		一般社団法人 公共建築協会が行う 建築材料・設備機材等品質性能評価 事業の設備機材等評価名簿（電気設 備機材・機械設備機材）令和6年版 による。
温水発生機	真空式温水発生機 無圧式温水発生機	鋼製・鋳鉄製	
冷凍機	チリングユニット（水冷式・空冷式・空気熱源ヒートポンプ） 吸収冷温水機 吸収冷温水機ユニット 遠心冷凍機		
冷却塔	冷却塔		
空気調和機	ユニット形空調和機 ファンコイルユニット コンパクト形空調和機 パッケージ形空調和機 マルチパッケージ形空調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空調和機		
空気清浄装置	エアフィルター（ﾊﾞﾙﾌﾞ形、折込み形） 自動巻取形エアフィルター 電気集じん器（自動巻取形、ﾊﾞﾙﾌﾞ形）		
全熱交換器	全熱交換器（回転形、静止形） 全熱交換ユニット		
送風機類	遠心送風機（多翼形送風機） 斜流送風機 軸流送風機 消音ボックス付送風機		
ポンプ類	横形遠心ポンプ（空調用、ボイラー給水用、揚水用） 水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用） 立形遠心ポンプ（ボイラー給水用、揚水用）		
ダクト・付属品	吹出口・吸込口 風量ユニット（定風量、変風量）		
自動制御	自動制御システム		
衛生器具	衛生器具ユニット		
タンク	FRP製パネルタンク 密閉形隔膜式膨張タンク（空調用・給湯用） ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形、ボルト組立形）		
消火装置	スプリンクラー消火システム 不活性ガス消火システム 泡消火システム ハロゲン化物消火システム		
厨房機器	厨房システム	板金製品類 熱調理機器類 食器洗浄機類 低温機器類	
衛生及び附属品	衛生陶器及び附属品 水栓類		㈱ ﾋﾞﾙ ﾏ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ｼﾞ ﾏ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﺗ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ
排水金具	排水金具		ｶ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ 小 島 製 作 所 ﾀ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ㈱ 中部コーポレーション ㈱ 長谷川 鋳 工 所 福 西 鋳 物 ㈱ 伊 藤 鉄 工 ㈱
鋳鉄製ふた	マンホールふた 弁胴ふた		一般社団法人 公共建築協会が行う 建築材料・設備機材等品質性能評価 事業の設備機材等評価名簿（電気設備 機材・機械設備機材）令和6年版によ るほか、下記による。 ㈱ ﾏ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ ﾞ
消火器具	消火栓		㈱ 立 売 堀 製 作 所 ㈱ 北 浦 製 作 所 ㈱ 村 上 製 作 所 ㈱ 横 井 製 作 所
製圧類	圧力容器		第1種圧力容器製造許可工場 製品とする

洋 風 便 器				
品 名		山 口 県 標 準 品 番	JIS (A5207) 記号 国土交通省標準記号	
洗浄弁式床置床排水Ⅱ形便器		C 7 1 0 S F V	C 7 1 0 S	
洋 風 密 結 便 器				
品 名		山 口 県 標 準 品 番	JIS (A5207) 記号 国土交通省標準記号	
タンク式床置床排水Ⅱ形便器		C 1 2 0 0 S	C 1 2 0 0 S	
注）・手洗いなしとする場合は末尾に明記する。 例）C 1 2 0 0 S（手洗いなし）				
多 目 的 便 所 用 便 器				
品 名		山 口 県 標 準 品 番		JIS (A5207) 記号 国土交通省標準記号
		リモコンフラッシュ弁	密結0-タンク	
高座面Ⅰ形便器（リモコン洗浄）		C 1 1 1 1 R F V S	C 1 1 1 1 R B T	C 1 1 1 1 R
注）・フラッシュバルブをボックス形とする場合は末尾に明記する。 例）C 1 1 1 1 R F V S（ボックス形）				
小 便 器				
品 名		山 口 県 標 準 品 番	JIS (A5207) 記号 国土交通省標準記号	
専用洗浄弁式壁掛小便器（低リップ）		U 6 2 0 R F V S	U 6 2 0	
専用洗浄弁式床置小便器（大）		U 6 1 0 R F V S	U 6 1 0	
汚 物 流 し				
品 名		山 口 県 標 準 品 番	JIS (A5207) 記号 国土交通省標準記号	
汚物処理ユニット（オストメイト用）		O S U	－	
掃 除 流 し				
品 名		山 口 県 標 準 品 番	JIS (A5207) 記号 国土交通省標準記号	
掃除流し		S 2 1 0	S 2 1 0	
洗面器・手洗器・洗面化粧台				
品 名		山 口 県 標 準 品 番	JIS (A5207) 記号 国土交通省標準記号	
洗面器 一般（大）自動水栓AC100V		L 4 1 0 S	L 4 1 0	
洗面器 一般（小）自動水栓AC100V		L 4 2 0 S	L 4 2 0	
洗面器 身体障害者用 自動水栓AC100V		L 5 1 1 S	L 5 1 1	
コンパクト手洗器（埋込タイプ）		L 9 1 0	－	
洗面化粧台（600形）混合水栓		L D 6 0 0（シングルレバー）	－	
洗面化粧台（750形）混合水栓		L D 7 5 0（シングルレバー）	－	
化粧キャビネット（600、750形）		L M 6 0 0、L M 7 5 0	－	
注）・附属品等は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編・令和4年版）に準ずる。 ・低圧用フラッシュ弁使用の場合は末尾に（L）をつける。 例）C 1 1 1 1 R F V S（L） ・ロータックは防曇形とし、原則として手洗付きとする。身体障害者用は手洗無しとする。 ・特殊な附属品等を使用する場合は末尾にその仕様を明記する。 例）C 1 1 1 1 R B T（0-タンク手洗無し） ・手洗器は、原則として立形自閉水栓＋アングル形止水栓とする。				
小 物 類			他	
品 名		山口県標準品番	品 名	山口県標準品番
紙巻器 シングル（ワンタッチ）		E 2 0	ダブルフック（SUS製）	E 1 0 2
紙巻器 ダブル		E 2 1	差替え台	E 1 0 3
立形水栓けん入れ		E 5 0	背もたれ	E 1 0 4
耐食鏡 5mm 450×600		E 6 5	L型手すり	E 1 0 5
耐食鏡 5mm 600×900		E 6 6	はね上げ手すり	E 1 0 6
姿見鏡		E 6 7	小便器用手すり	E 1 0 7
擬音装置（AC100V）		E 7 1	P型手すり	E 1 0 8
暖房便座		E 8 1	ベビーチェア（平面設置）	B C 1
温水洗浄便座（本体操作317、擬音装置付）		E 8 2	ベビーチェア（コーナー設置）	B C 2
汚物入れ（SUS製）		E 1 0 1	ベビーシート	B S
注）・耐食鏡を盗難防止形とする場合は末尾に明記する。 例）E 6 5（盗難防止形） ・擬音装置を露出形とする場合は末尾に明記する。 例）E 7 1（露出形） ・リモコン操作形とする場合は末尾に明記する。 例）E 8 2（リモコン操作）				
1		衛生器具類		

給 水 栓 ・ 止 水 栓 ・ シ ャ ワ ー 類			
品 名		山口県標準品番	国土交通省標準記号
キー式吐水口回転形横水栓		F 7 K	F 7
緊急止水弁付横水栓（逆止弁付）		F 7 S	—
散水栓		F 1 1	—
散水栓（自動接手付）		F 1 1 A	—
キー式カップリング付き横水栓		F 1 2 K	F 1 2
横形グースネック水栓		F 1 4 A	—
壁付ハンドシャワー式シャワーバス水栓（切替）シングルレバー式		F 1 8 A M	—
壁付ハンドシャワー式シャワーバス水栓（切替）サーモスタット式		F 1 8 A S	—

注）・表中記載以外の品番は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和４年版・機材３３）又は、ＪＩＳＢ２０６１（給水栓）による。

・左ハンドル仕様及び泡沫形の場合は、末尾に明記する。例）Ｆ９Ａ（Ｌ）（泡沫つ）

・※をつけた水栓は、大きさ13に限り原則として節水こまとする。但し給湯用水栓は、普通こまとする。

2	給水栓類
---	------

4 散水栓樹取付図 (B C-3)

5 量水器樹 (13mm~20mm)

6 屋内消火栓箱 (HB-0A・HB-0B)

7 消火栓

排水金具類			
品名	備考	山口県標準品番	JCW記号 JIS記号
床排水金物	C形金物 (T3ストレーナ部分相当)	C	C
P形トランプ	(T3トラフ 部分相当)	P	—
床排水トランプ	ワントラップ (非防水用)	T5A	T5A
床排水トランプ	ワントラップ (75φ防水層用)	T5B	T5B
洗濯機用床トランプ	ワントラップ (非防水用)	T5CA	—
洗濯機用床トランプ	ワントラップ (75φ防水層用)	T5CB	—
流しトランプ	ステンレス流し用 (ストレーナ付き)	T14AA	T14AA
流しトランプ	ステンレス流し用 (共栓付き)	T14AB	T14AB
流しトランプ	コンクリート流し用 (ストレーナ付き)	T14BA	T14BA
流しトランプ	コンクリート流し用 (共栓付き)	T14BB	T14BB
流し排水金具	ステンレス流し用 (ストレーナ付き)	C-AA	—
流し排水金具	ステンレス流し用 (共栓付き)	C-AB	—
コウリト浴槽トランプ	SNA + 防水受つば + P形トランプ	T15	—
コウリト浴槽トランプ	SNA + 防水受つば + P形トラフ (ゴム製共栓付き)	T15-R	—
スリム浴槽排水金物	(ゴム製共栓付き)	SNA-R	SNA-R
ブラスタートラップ	鋳物製	PLT	—
床上掃除口	ビニール管用	CVA	—
床上掃除口	ビニール管用化粧形	CVAT	—
床上掃除口	ガス管用化粧形 (非防水用)	COAT	—
床上掃除口	ガス管用化粧形 (75φ防水層用)	COBT	—
床下掃除口	鉄鈑管用	CE	—
立管掃除口		VCO	—
通気金物	露出形ベンドキャップ	VR	—
防虫網	(内ねじ型、外ねじ型)	IDN	—
量水器樹ふた	13mm ~ 20mm	MB	—
散水栓箱	固定金具付き	B3	—

注) ・表中記載以外の品番は、国土交通大臣官庁官房官庁営繕部設備・環境課監修公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和4年版・機材34)による。
・50A以下のワントラップについては、樹脂製のワンとする。

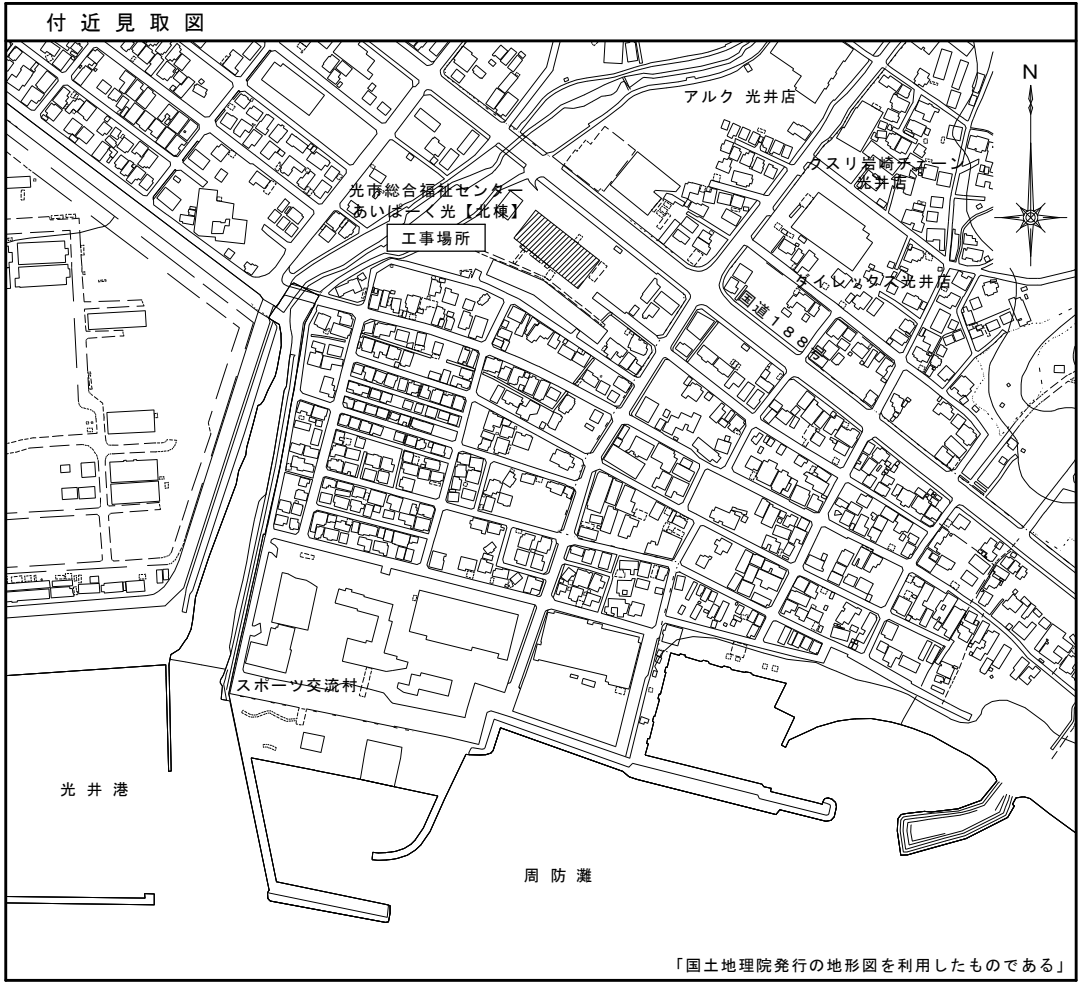
3	排水金具類 ・ ふた類
---	-------------

A部詳細図

量水器ボックス取付図 (50mm以上)

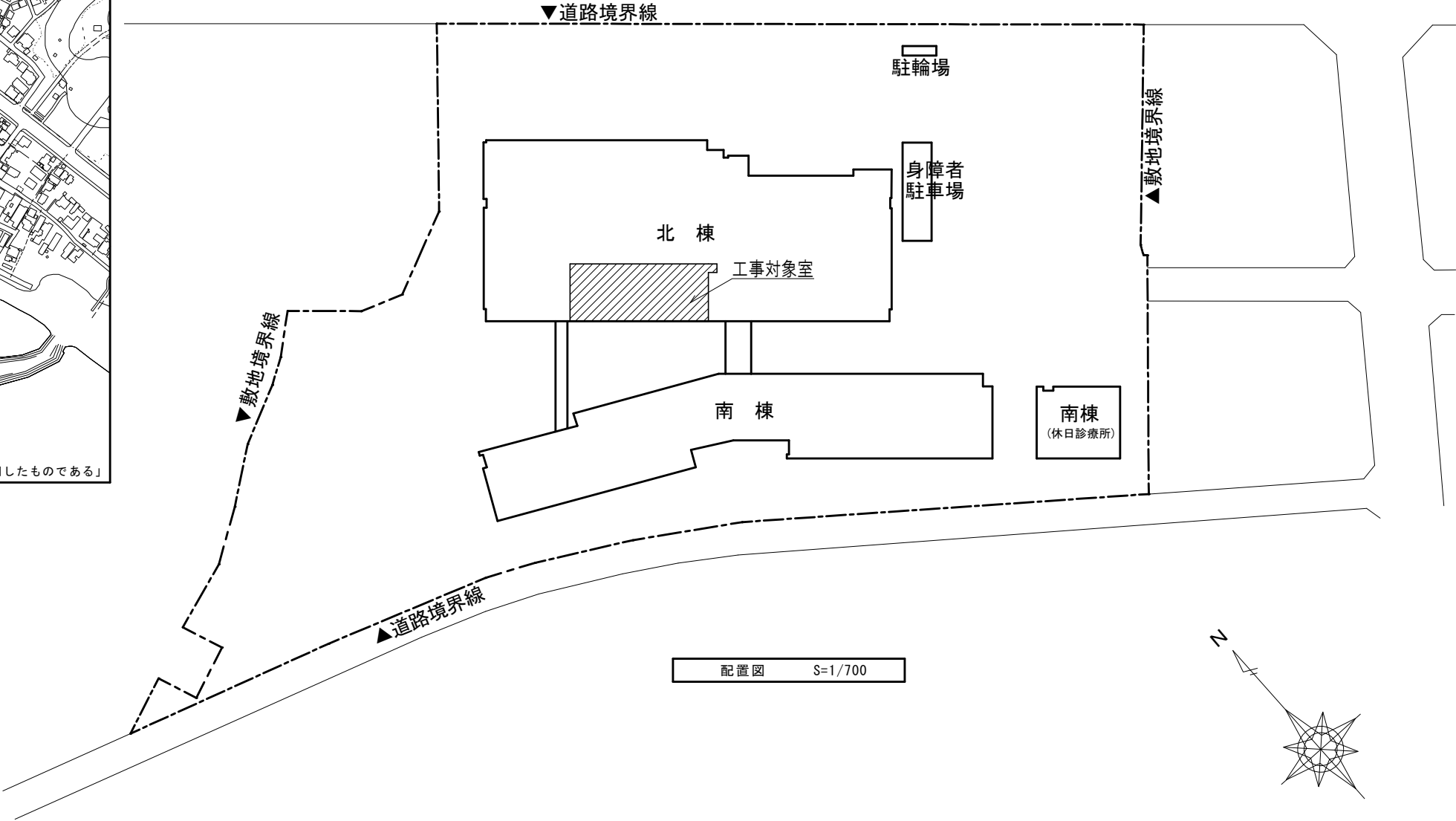
グリーストラップ詳細図

工事名称 光市総合体育館空調設備工事		設計番号 H-64-034	
機	図名 機械設備特記仕様書 4	縮尺 N/S	図面番号 M-04
光 市 役 所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日



工事概要

- ・事務室（1）（2）、相談室（1）、更衣室（1）、ミーティングルームを事務室に模様替え
換気扇、衛生器具、給排水設備を撤去する。
- ・空調配管を一部撤去・新設する。
- ・空調機リモコンを移設する。
- ・相談室（2）及び介護保険調査室を相談室（1）、相談室（2）、更衣室に模様替え
空調・換気ダクトを一部撤去・新設する。
- ・更衣室に空調機、換気扇を新設する。
- ・授乳室の新設
換気扇を新設する。




工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
機	図名 工事概要・付近見取図・配置図	縮尺 1/700	図面番号 M-05
光 市 役 所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R06年11月 日

空調機器表（改修後）					
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	数量	設置場所	備 考
AC-1	空調和機	型式：床置コンパクト形・外気冷房可能形	1	2階	
(既設)		冷却能力：30.64kW		機械室(2)	
		加熱能力：22.44kW			
		送風量：12,000m3/h 機外静圧：800Pa			
		電源：3φ200V 7.5kW			
		冷温水量：88L/min			
FCU-2C	ファンコイルユニット	型 式：天井埋込形	3	事務室	
(既設)		冷 房：1.52kW (TH) 1.21kW (SH)			
		暖 房：1.76kW			
		風 量：310m3/h			
		電 源：1φ100V 0.04kW			
		冷温水量：4.0L/min			
FCU-3C	ファンコイルユニット	型 式：天井埋込形	3	事務室	
(既設)		冷 房：2.26kW (TH) 1.78kW (SH)			
		暖 房：2.54kW			
		風 量：450m3/h			
		電 源：1φ100V 0.06kW			
		冷温水量：6.0L/min			
FCU-8C	ファンコイルユニット	型 式：天井埋込形	2	事務室	
(既設)		冷 房：6.58kW (TH) 4.90kW (SH)			
		暖 房：6.95kW			
		風 量：1,120m3/h			
		電 源：1φ100V 0.13kW			
		冷温水量：16.0L/min			
ACP-1	パッケージ形空調和機	型 式：空気熱源ヒートポンプ式	1	相談室 (1)	
(既設)		ツイン同時運転 天井ビルトイン形		相談室 (2)	
		冷 房：11.2kW 暖 房：12.5kW			
		電 源：3φ200V 圧縮機 2.4kW			
		送風機：0.06kW×2 (室外) 0.04kW×2 (室内)			
ACP-2	パッケージ形空調和機	型 式：空気熱源ヒートポンプ式 室内機 (CK-4)	1	更衣室	耐重塩害仕様
(新設)		冷 房：5.0kW 暖 房：5.6kW			
		電 源：1φ200V 圧縮機 1.21kW			
		送風機：0.05kW (室外) 0.057kW (室内)			
		付属品：リモコンスイッチ (ワイヤード)、防護ネット			

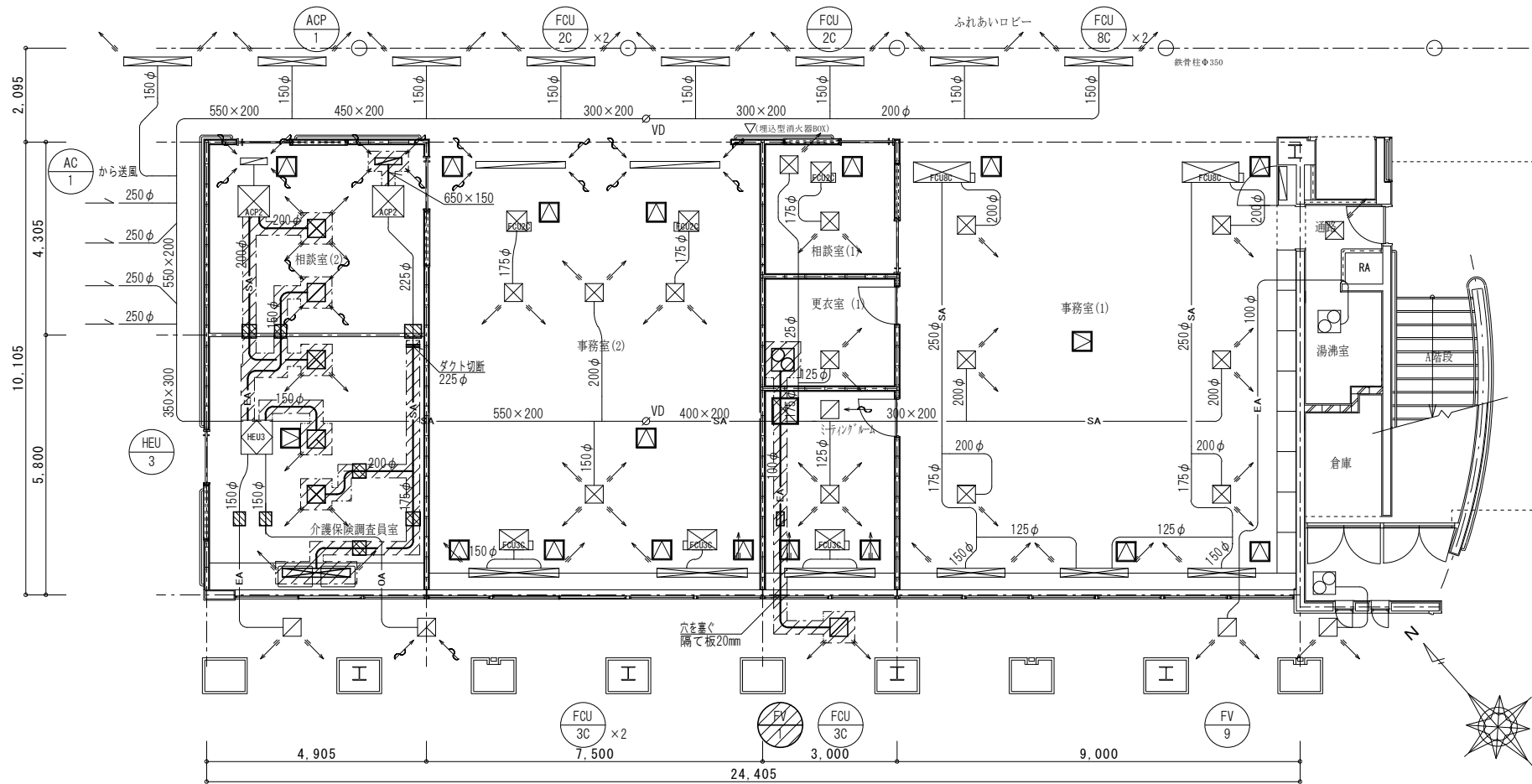
換気機器表（改修後）					
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	数量	設置場所 (系統)	備 考
HEU-3	全熱交換器ユニット	型 式：静止形天井埋込ダクトタイプ	1	相談室 (1)	
(既設)		風量：200m3/h 機外静圧：40Pa		相談室 (2)	
		電 源：1φ100V 送風機：0.14kW			
FV-9	換気扇	型 式：天井埋込形	1	湯沸室	
(既設)		風量：150m3/h 機外静圧：50Pa			
		電 源：1φ100V 送風機：0.10kW			
FE-1	換気扇	型 式：天井埋込形	1	更衣室	
(新設)		風量：380m3/h 機外静圧：40Pa			
		電 源：1φ100V 送風機：0.10kW			
		付属品：強弱スイッチ			
FE-2	換気扇	型 式：天井埋込形	1	授乳室	
(新設)		風量：40m3/h 機外静圧：20Pa			
(24H)		電 源：1φ100V 送風機：0.10kW			
		付属品：24Hスイッチ			
※1. 天井埋込形換気扇には吊金物を付属すること。					

空調機器表（改修前）					
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	数量	設置場所	備 考
AC-1	空調和機	型式：床置コンパクト形・外気冷房可能形	1	2階	
		冷却能力：30.64kW		機械室(2)	
		加熱能力：22.44kW			
		送風量：12,000m3/h 機外静圧：800Pa			
		電源：3φ200V 7.5kW			
		冷温水量：88L/min			
FCU-2C	ファンコイルユニット	型 式：天井埋込形	3	事務室 (2)	
		冷 房：1.52kW (TH) 1.21kW (SH)		相談室 (1)	
		暖 房：1.76kW			
		風 量：310m3/h			
		電 源：1φ100V 0.04kW			
		冷温水量：4.0L/min			
FCU-3C	ファンコイルユニット	型 式：天井埋込形	3	事務室 (2)	
		冷 房：2.26kW (TH) 1.78kW (SH)		ミーティングルーム	
		暖 房：2.54kW			
		風 量：450m3/h			
		電 源：1φ100V 0.06kW			
		冷温水量：6.0L/min			
FCU-8C	ファンコイルユニット	型 式：天井埋込形	2	事務室 (1)	
		冷 房：6.58kW (TH) 4.90kW (SH)			
		暖 房：6.95kW			
		風 量：1,120m3/h			
		電 源：1φ100V 0.13kW			
		冷温水量：16.0L/min			
ACP-1	パッケージ形空調和機	型 式：空気熱源ヒートポンプ式	1	相談室 (2)	冷媒：R22
		ツイン同時運転 天井ビルトイン形		介護保険調査員室	
		冷 房：11.2kW 暖 房：12.5kW			
		電 源：3φ200V 圧縮機 2.4kW			
		送風機：0.06kW×2 (室外) 0.04kW×2 (室内)			

換気機器表（改修前）					
記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	数量	設置場所 (系統)	備 考
HEU-3	全熱交換器ユニット	型 式：静止形天井埋込ダクトタイプ	1	相談室 (2)	
		風量：250m3/h 機外静圧：100Pa		介護保険調査員室	
		電 源：1φ100V 送風機：0.14kW			
FV-1	換気扇	型 式：天井埋込形	1	更衣室 (1)	
		風量：100m3/h 機外静圧：50Pa			
		電 源：1φ100V 送風機：0.02kW			
FV-9	換気扇	型 式：天井埋込形	1	湯沸室	
		風量：150m3/h 機外静圧：50Pa			
		電 源：1φ100V 送風機：0.10kW			

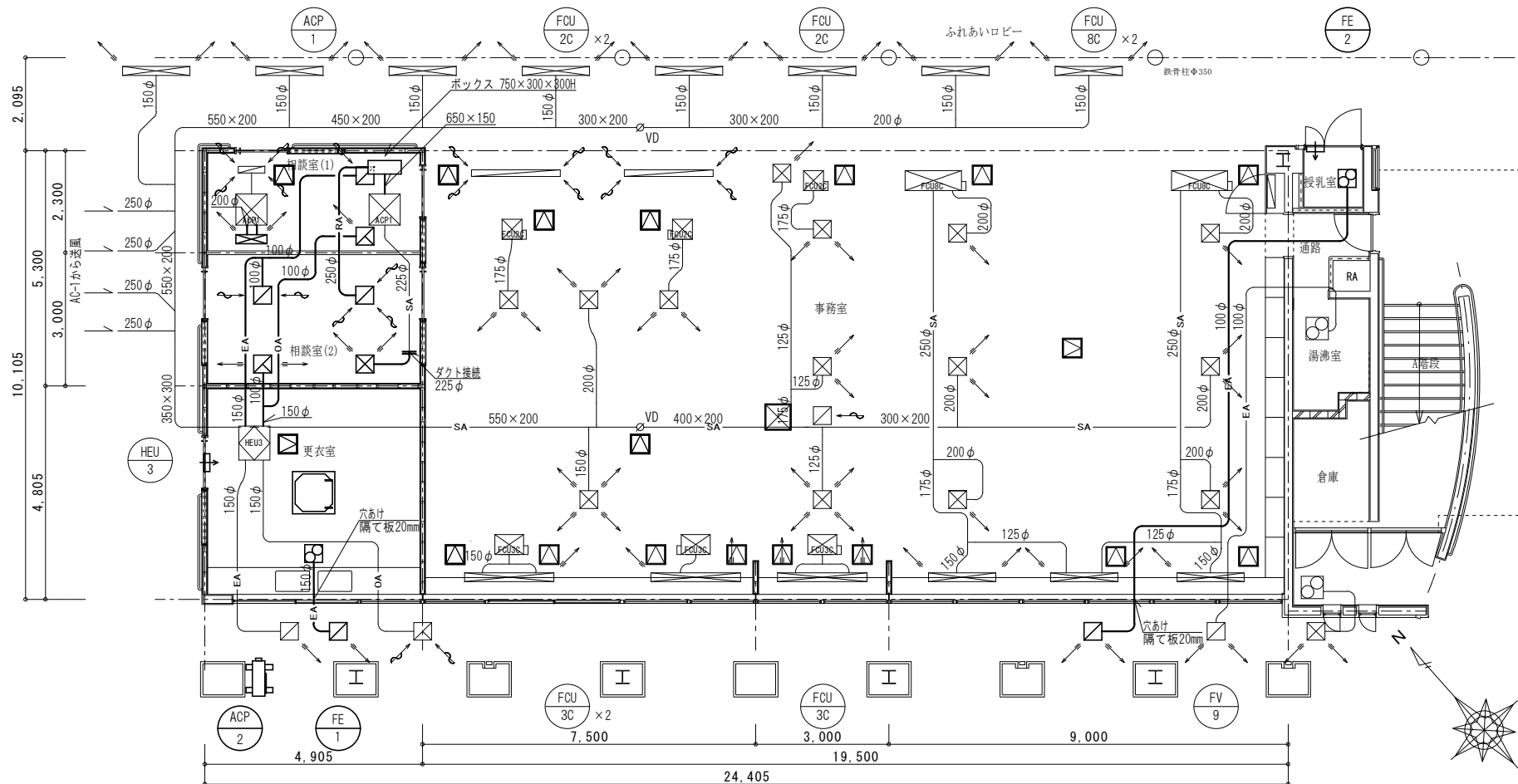
※  網掛けは撤去範囲を示す。

工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
機	図名 空調・換気機器表（改修前後）	縮尺 1/100	図面番号 M-06
光 市 役 所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日



空調・換気ダクト平面図 (改修前) 1/100

※ 既設梁スリブを示す。



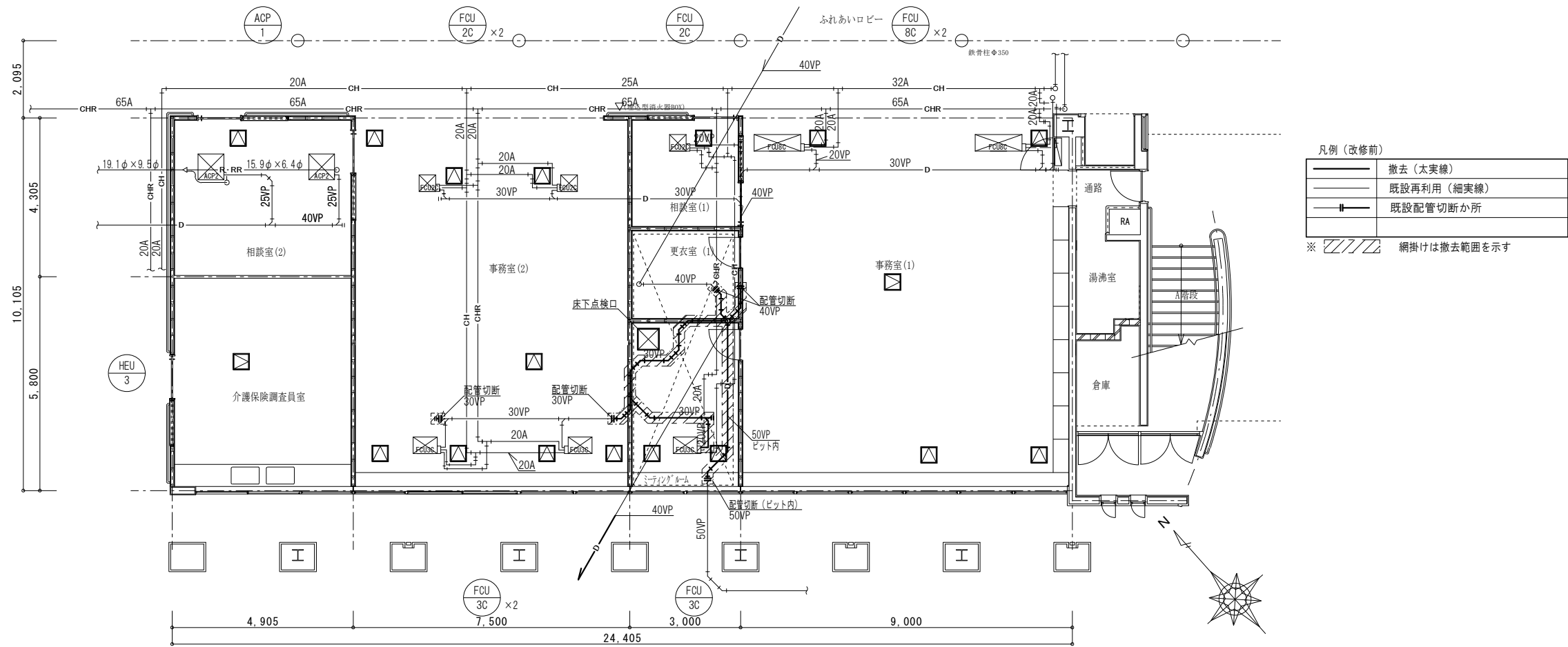
空調・換気ダクト平面図 (改修後) 1/100

制気口リスト (改修前)											
階	室 名	系 統	種 別	制気口		ボックス		数量	制気口風量	全風量	備 考
				型式	寸法	型式	内貼		m3/h・個	m3/h	
1	事務室(1)	AC-1	SA	EP	#20	K型Box (IN200φ)	GW25t	2	400	800	
		FCU-8C	SA	EP	#20	K型Box (IN175φ)	GW25t	4	400	1600	
		FCU-8C	SA	KLS	1500	LDファンパ [®] -200φ	GW25t	2	215	430	
		FCU-8C	SA	KLS	1500	LDファンパ [®] -175φ	GW25t	1	215	215	
	相談室(1)	AC-1	SA	VHS	150×150	350×350×275	GW25t	1	120	120	
		FCU-2C	SA	EP	#20	K型Box (IN175φ)	GW25t	1	280	280	
	更衣室(1)	AC-1	SA	VHS	150×150	350×350×275	GW25t	1	120	120	
	ミーティング [®] ルーム	AC-1	SA	EP	#12.5	K型Box (IN125φ)	GW25t	1	120	120	
		FCU-3C	SA	KLS	2000	LDファンパ [®] -200φ	GW25t	1	420	420	
		AC-1	RA	GV	300×300	450×450×300	-	1	540	540	
	事務室(2)	AC-1	SA	EP	#20	K型Box (IN175φ)	GW25t	1	400	400	
		AC-1	SA	EP	#15	K型Box (IN150φ)	GW25t	1	240	240	
		FCU-2C	SA	EP	#20	K型Box (IN200φ)	GW25t	2	280	560	
		FCU-3C	SA	KLS	2000	LDファンパ [®] -200φ	GW25t	2	510	1020	
		AC-1	RA	SL#	2000	-	-	2	1100	2200	
	相談室(2)	ACP-1	SA	EP	#20	K型Box (IN200φ)	GW25t	1	300	300	撤去
		ACP-1	RA	HS	650×150	-	-	2	600	1200	1個のみ撤去
		HEU-3	EA	HS	200×200	400×400×300	-	1	250	250	撤去
	介護保険調査員室	ACP-1	SA	EP	#20	K型Box (IN200φ)	GW25t	2	300	600	撤去
		ACP-1	SA	KLS	1500L	LDファンパ [®] -225φ	GW25t	1	300	300	撤去
		HEU-3	OA	VHS	200×200	400×400×300	GW25t	1	250	250	撤去
		HEU-3	EA	GV	200×200	400×400×300	-	1	250	250	
	軒天	HEU-3	OA	GV	200×200	400×400×300	-	1	250	250	
		FV-1	EA	GV	200×200	400×400×300	-	1	100	100	撤去
		FV-9	EA	GV	200×200	400×400×300	-	1	150	150	

※1. 網掛けは撤去範囲を示す

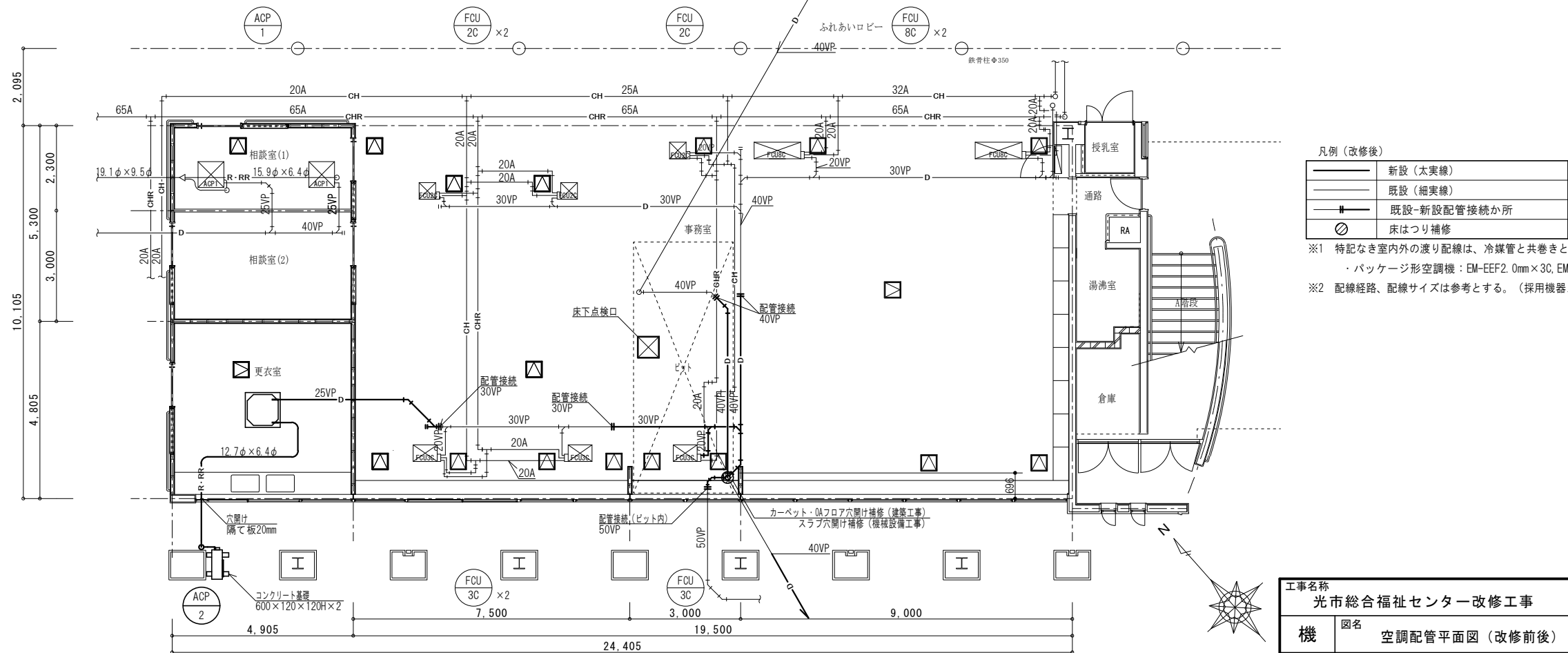
制気口リスト (改修後)											
階	室 名	系 統	種 別	制気口		ボックス		数量	制気口風量	全風量	備 考
				型式	寸法	型式	内貼		m3/h・個	m3/h	
1	事務室	AC-1	SA	EP	#12.5	K型Box (IN125φ)	GW25t	1	120	120	既設
		AC-1	SA	EP	#15	K型Box (IN150φ)	GW25t	1	240	240	既設
		AC-1	SA	EP	#20	K型Box (IN200φ)	GW25t	2	400	800	既設
		AC-1	SA	EP	#20	K型Box (IN175φ)	GW25t	1	400	400	既設
		AC-1	SA	VHS	150×150	350×350×275	GW25t	1	120	120	既設
		AC-1	SA	VHS	150×150	350×350×275	GW25t	1	120	120	既設
		AC-1	RA	GV	300×300	450×450×300	-	1	540	540	既設
		AC-1	RA	SL#	2000	-	-	2	1100	2200	既設
		FCU-2C	SA	EP	#20	K型Box (IN175φ)	GW25t	1	280	280	既設
		FCU-2C	SA	EP	#20	K型Box (IN200φ)	GW25t	2	280	280	既設
		FCU-3C	SA	KLS	2000	LDチャンパ [®] -200φ	GW25t	1	420	420	既設
		FCU-3C	SA	KLS	2000	LDチャンパ [®] -200φ	GW25t	2	510	1020	既設
		FCU-8C	SA	EP	#20	K型Box (IN175φ)	GW25t	4	400	1600	既設
		FCU-8C	SA	KLS	1500	LDチャンパ [®] -200φ	GW25t	2	215	430	既設
		FCU-8C	SA	KLS	1500	LDチャンパ [®] -175φ	GW25t	1	215	215	既設
	相談室 (1)	ACP-1	SA	VH	700×200	800×300×250	GW25t	1	600	600	新規
		ACP-1	RA	HS	650×150	-	-	1	600	600	既設
		HEU-3	OA	VHS	100×200	200×300×250	GW25t	1	80	80	新規
		HEU-3	EA	GVS	150×150	250×250×200	-	1	80	80	新規
	相談室 (2)	ACP-1	SA	VH	400×300	500×400×400	GW25t	1	600	600	新規
		ACP-1	RA	GV	350×350	450×450×400	-	1	600	600	新規
		HEU-3	OA	VHS	100×200	200×300×250	GW25t	1	120	120	新規
		HEU-3	EA	GVS	150×150	250×250×200	-	1	120	120	新規
	軒天	HEU-3	EA	GV	200×200	400×400×300	-	1	200	200	既設
		HEU-3	OA	GV	200×200	400×400×300	-	1	200	200	既設
		FV-9	EA	GV	200×200	400×400×300	-	1	150	150	既設
		FE-1	EA	VH	250×250	350×350×300	-	1	380	380	新規
		FE-2	EA	VH	100×200	200×300×250	-	1	40	40	新規

工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
機	図名 空調・換気ダクト平面図 (改修前後)	縮尺 1/100	図面番号 M-07
光 市 役 所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日



凡例（改修前）	
	撤去（太実線）
	既設再利用（細実線）
	既設配管切断か所
※ 網掛けは撤去範囲を示す	

空調配管平面図（改修前） 1/100

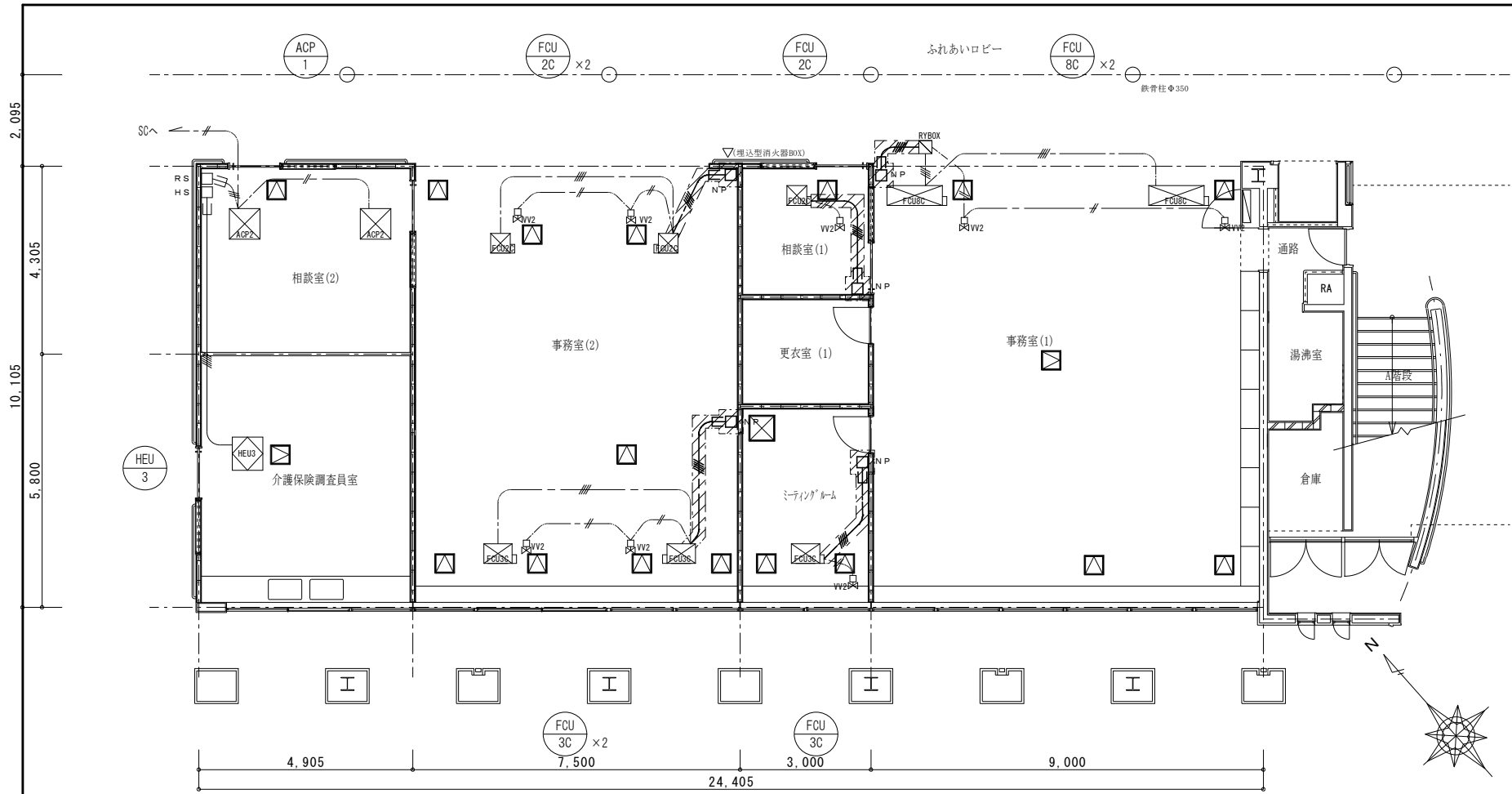


凡例（改修後）	
	新設（太実線）
	既設（細実線）
	既設-新設配管接続か所
	床はつり補修

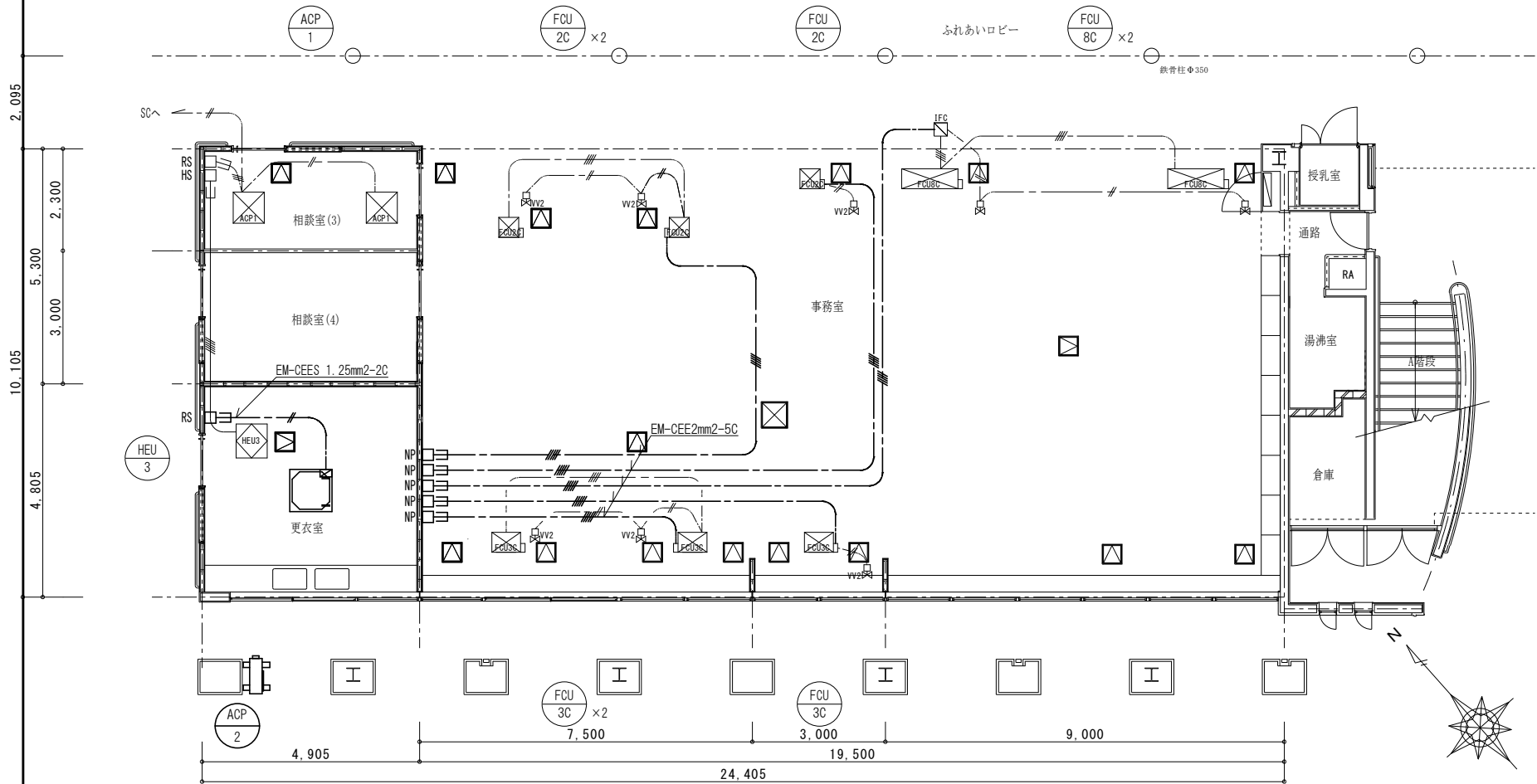
- ※1 特記なき室内外の渡り配線は、冷媒管と共巻きとし配線サイズは以下のとおりとする。
・パッケージ形空調機：EM-EEF2.0mm×3C, EM-1E1.6mm
- ※2 配線経路、配線サイズは参考とする。（採用機器メーカーに確認し施工すること。）

空調配管平面図（改修後） 1/100

工事名称 光市総合福祉センター改修工事		設計番号 H-65-010
機	図名 空調配管平面図（改修前後）	図面番号 M-08
光市役所		号図
一級建築士登録321729号 小澤 透		R07年 9月 日



空調・換気制御平面図（改修前）1/100

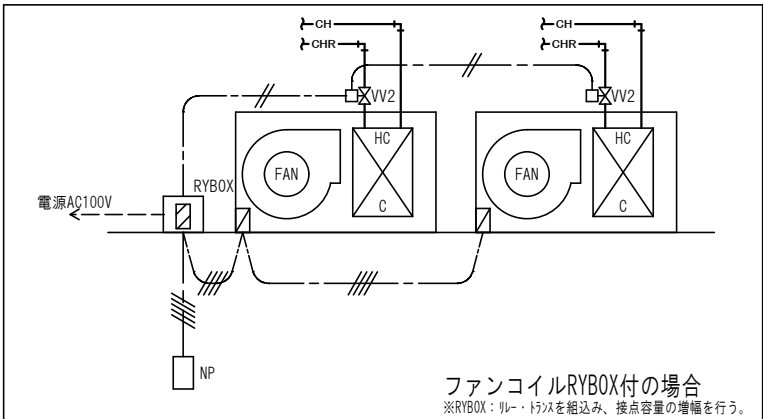


空調制御平面図（改修後）1/100

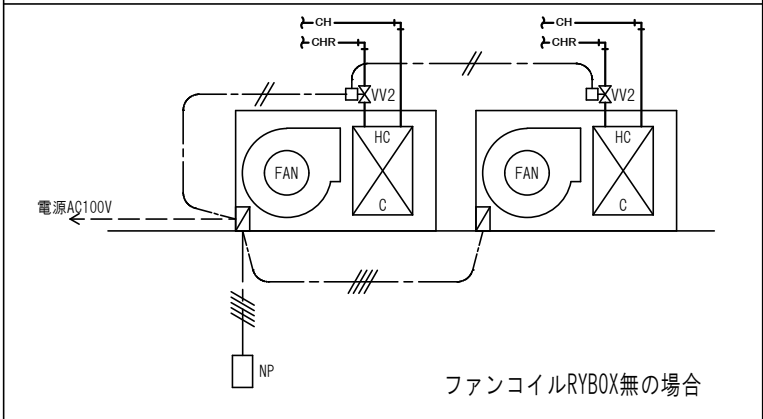
凡 例（改修前）

記 号	名 称	配 線	備 考
	二方弁制御	CVV1. 25sq-2C	VV2-----FCU
	二方弁渡り線		VV2-----VV2
	RYBOX渡り線	CVV2sq-4C	RYBOX-----FCU
	ファンコイルユニット渡り線		FCU-----FCU
	ファンコイルリモコンスイッチ	CVV2sq-5C	NP-----FCU
			NP-----IFC
	空調機リモコンスイッチ	MVVS0. 75sq-3C	RS-----EHP
	パッケージエアコン渡り線	MVVS0. 75sq-2C	EHP-----EHP
	全熱交換器リモコンスイッチ	CVV2sq-6C	HS-----HEU
	保護管内配線		

※1. 網掛けは撤去範囲を示す
※2. ファンコイルリモコンスイッチは取外し後に移設して再接続すること



ファンコイルRYBOX付の場合
※RYBOX：リレー・トラサを組込み、接点容量の増幅を行う。

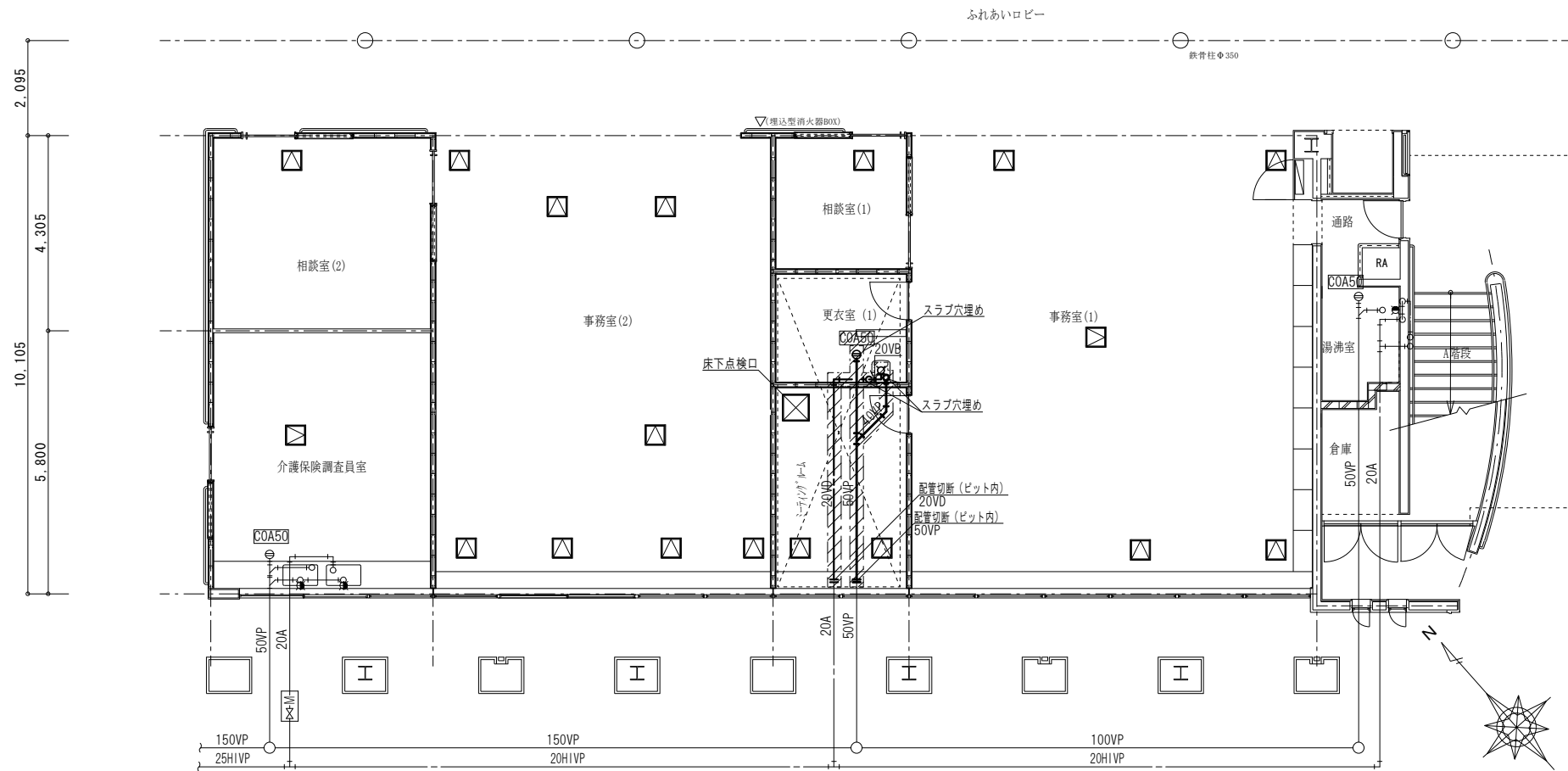


ファンコイルRYBOX無の場合

凡例（改修後）

	新設（太線）	
	既設（細線）	
	空調機リモコンスイッチ	
	ファンコイルリモコンスイッチ	再取付
	保護管内配線	金属線び（電気工事）

工事名称 光市総合福祉センター改修工事		設計番号 H-65-010
機	図名 空調・換気制御平面図（改修前後） 縮尺 1/100	図面番号 M-09
光 市 役 所		号図
一級建築士登録321729号 小澤 透		R07年 9月 日



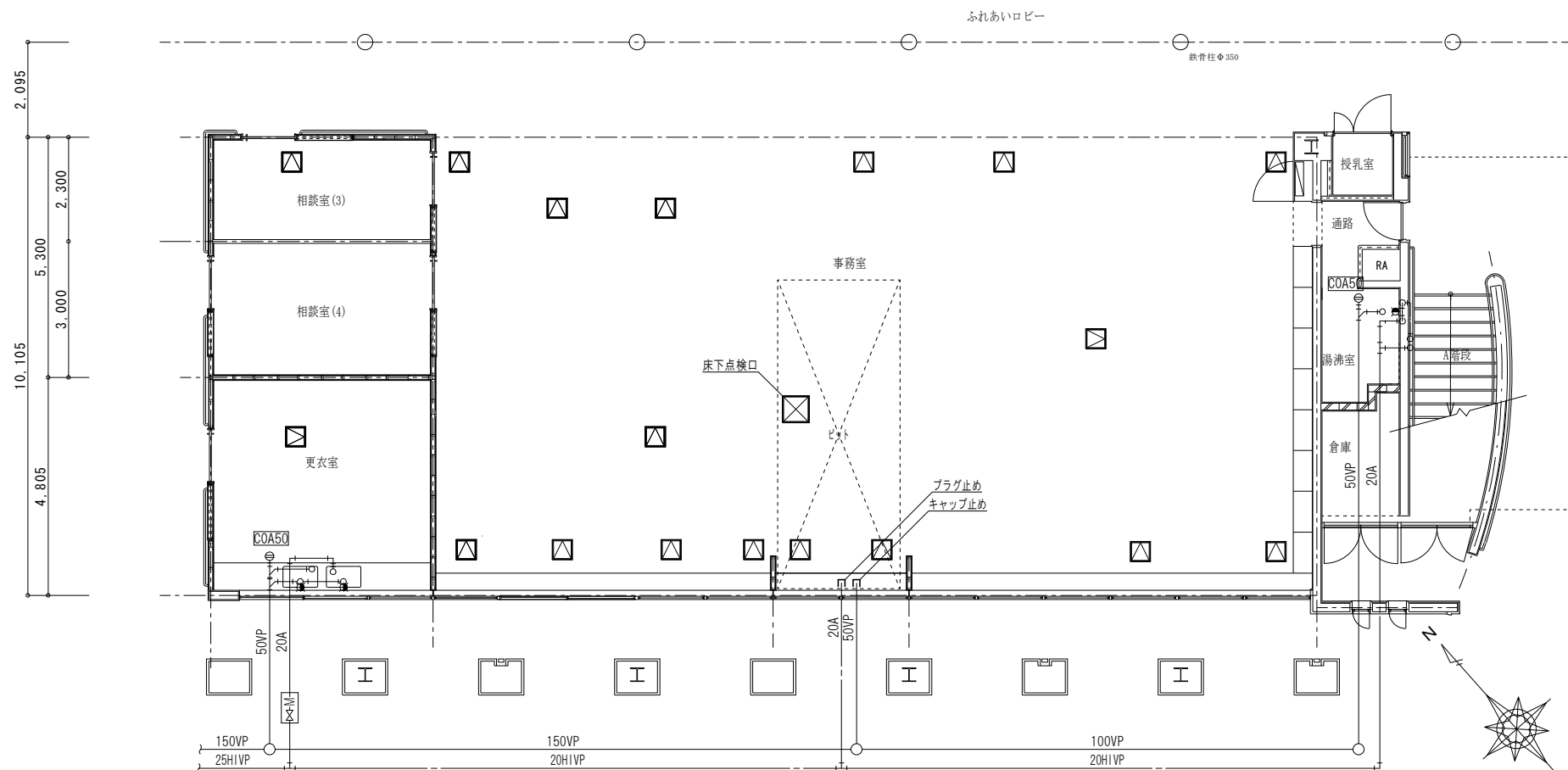
衛生設備平面図(改修前) 1/100

凡例(改修前)

	撤去(太実線)
	既設再利用(細実線)
	既設配管切断か所

器具名	型番	仕様	数量
洗面器	L221D	単水栓	1
化粧鏡		400×600	1

※ 網掛けは撤去範囲を示す



衛生設備平面図(改修後) 1/100

凡例(改修後)

	キャップ・プラグ止め
	既設(細実線)

工事名称 光市総合福祉センター改修工事			設計番号 H-65-010
機	図名 衛生設備平面図(改修前後)	縮尺 1/100	図面番号 M-10
光市役所			号図
一級建築士登録321729号 小澤 透			R07年 9月 日